

LE COEUR



VOL 36



ール・クールとは—
フランス語で、魂や精神の宿るところ
を意味する言葉です。

したがって、松高精神の核となるもの
が、この生徒会誌「ル・クール」です。

目

次

巻頭の言葉

心の宿

生徒会長 小玉兼昭

1

生徒会総務活動報告

(六十二年前期)

3

特集

「生徒会総務の活動を調べる」

漫画——佐々木くんのある夏休みの1日——

7

生徒会報告

◎委員会報告

20

◎クラブ紹介

25

試合結果報告

39

各クラブ活動場所一覧表

45

行事報告

◎五月 遠足・体育祭.....

50

◎七月 芸術鑑賞.....

56

◎九月 輝松祭.....

57

◎十月 二年修学旅行（広島・山口）.....

61

投稿欄

創作.....

63

詩.....

67

エッセイ.....

68

編集後記 クラス紹介

90

生徒会誌編集委員会 委員長 二E 岡田直美.....
表 紙 二A 磯村 友紀

77

写真提供 写真部

63

カット 選択美術 二A 三好里絵 二B 石沢政人 二B 沢田朋江

二B 佐藤 修 二B 渡辺なを 二D 野崎ちよみ 二D 小野塚智敬

二D 城島哲也 二D 武笠陽子 二D 羽生貴子 二D 福田慶子

二F 鈴木由理

心の宿

校長 小玉兼昭

生徒会誌「ル・クール」の意味は、巻頭の解説によれば「魂や精神の宿るところ」という意味をもつてゐるそうである。示唆に富んだ味わいの深い言葉である。この生徒会誌がそのような役割を果たしていくかどうかは、松高生諸君のこの会誌に寄せられた熱意にかかっていると思う。

ところで、魂や精神が宿る「もの」と言えば、アニミズム——精靈信仰——という言葉が浮かんでくる。靈魂が自然界の物象に宿り、その靈力を發揮するのである。

宗教の起原をここに求めるものもある。古来、人々がその生活の中で、生命の安泰を願い、平和な生活を願う心から、さまざまな物象に靈力を感じ、むしろ畏敬の念をもつて接してきたことは、今も受け継がれている民俗行事の中にもうかがうことができる。正月の行事に使う「ひいらぎ」や「ゆずりは」、あるいは五月の節句に使う「しょうぶ」や「よもぎ」など、これらの植物に宿る靈力を頼りとしたに違いない。

春さきに野外に出たとき、あるいは野外ならずとも、雑草の生えたちよつとした土堤に「野蒜」の群生しているのに出くわすことがある。食用にもなるが、毒虫に刺されたときの薬草にもなる。ネギに似た強い匂いがするので、そ

こに威力を感じて魔除けにも使われたようである。古事記に、この野蒜にまつわるこんな話がある。

倭建命が天皇の命により、東方十二ヶ国の大荒ぶる神々や服従しない人々を平定のため、相模国足柄山の坂の麓にさしかかり、そこで食事をとつていていた。そのとき、その坂の神が白い鹿となつて襲いかかってきた。倭建命は食べかけの蒜（野蒜のこと）の端をつかんで投げつけたところ、鹿の目にあたつたので鹿はたちどころに死んでしまつたといふのである。

野蒜が目に当つただけで大鹿は死ぬわけがない。野蒜には精靈が宿つており、その精靈の力を借りて外敵から身を護るという精靈信仰がその背景になつてゐるようと思われる。

野蒜が目に当つただけで大鹿は死ぬわけがない。野蒜には精靈が宿つており、その精靈の力を借りて外敵から身を護るという精靈信仰がその背景になつてゐるようと思われる。菜の茎^(のね)のことを「茎立^(くねだら)」というが、茎の立った菜は、食べ盛りを過ぎて、食べてもまずい。しかし、昔の人々はこの「茎立」にも、そのすくと立つた、りりしい姿に靈力を感じ、その威力を信じてきたことは古書にも見られるところである。日常接する「もの」の中で、特に匂いの強烈なもの、姿・形の目立つような「もの」に人力の及ばないことを知り、そこに生命を託す、それはひたむきに生きる人々の生活の智慧であつたように思われる。

生徒会誌「ル・クール」は、精靈ならぬ、生徒諸君一人ひとりのたくましい心が結集されることによつてその威力が發揮されます。その名のとおり、松高生の心の宿といふ。いつまでも続くことを願うものである。

「おもしろい生徒会誌を」

生徒会長 佐々木知生

はつきり言つて、今年のルクールには期待します。なんてつたつて今年は委員が違う。中心となつて活動している人々は皆、去年ルクール委員をやつていらない。その上去年のルクールさえろくに読んでいない。つまり、悪くいえば彼ら（いや、正確には彼女ら）には全く予備知識がないのです。へタすりや大失敗です。

だけど、見方を変えれば、去年のことを全く知らないが故、通例にとらわれずに、とかく毎年「マンネリ」「おもしろくない」等の声の出るルクールに、新しい風を吹き込んでくれることも期待できるはずです。今年のル・クールの内容はまだよく知りませんが、マンガをとり入れたりしてかなり新しいことをしているようです。

思えば、僕もはじめはとまどいました。他校を委員も一緒に訪問させられると知つた時には、反対しました。しかし、彼ら（正確には、……）のパワーには負けました。いや、何といつてもルクール委員会顧問の岡野先生には、ふみつぶされるようにしておしきられてしまいました。

そして、「細かい計画もないのに…」と不安に思いながら行ってみると、他校の生徒会役員の方々と話をするとどうのは、得るところが大きく、かなり勉強になりました。



では、みなさんも、ル・クール委員と岡野先生のパワーがほとばしる今年のル・クール、期待してお読み下さい。

生徒会総務活動報告（六十二年前期）

4月

こんには、会長の佐々木です。

どうも、普段から僕ら生徒会総務の仕事というのは理解されていないようです。そこで、この「生徒会総務活動報告」の場で、前期にやつてきた仕事を大まかに箇条書きにしてみます。

もちろん、僕らの仕事はこれだけでなく、他に

○クラブ・委員会等に対する会計の仕事

○クラブ・委員会等から委託された印刷の仕事

○クラブ・委員会等への道具の貸し出し

等の日常の仕事もこなさなくていけないわけです。それに、もちろん僕らも勉強や、部活をやっている人は部活もしなくてはいけません。そして文化祭前は、クラスの出しどもに協力しなくてはいけないです。

さて、これを読んで、少しでもみなさんが僕らの仕事を理解して下されば幸いです。また、「こういうことをしたらどうか」というような意見がございましたら、是非最寄りの生徒総務役員か生徒会室へどうぞ。お待ちしております。



5月

○生徒総会の準備・運営（評議会と協同）

○生徒総会反省会

○体育祭の運営（体育委員と協同）

○受付のこと（受付係と協同）

○昼休み、フィールド決勝の実況放送
(放送委員と協同)

○他校へ招待状発送

○体育祭の準備

○近所にあいさつまわり

○体育祭アンケート実施

○文化祭の企画・準備

○金券についての審議

○ルクールの企画（ルクール委員と協同）

○総務企画について

6月

○体育祭アンケート集計（一人あたり一クラス分）

○体育祭反省会（体育委員と協同）

○クラブ調査実施

○評議会に総務活動報告

○評議会に体育祭決算提出（会計）

○文化祭の企画・準備

○文化祭会計説明会（会計）

○講演会アンケート実施・集計

○総務企画について

○ルクールの企画（ルクール委員と協同）

1987年度 生徒会総務役員一覧

前期（4月～）

会長 2-B 佐々木知生
 副会長 2-F 本田貴司
 1-E 高橋弥生
 書記 2-D 野崎ちよみ
 1-D 矢島えみ子
 会計 2-F 黒澤一裕
 2-F 白幡幸子
 3-E 今範彦
 1-B 林泰文

後期（10月～）

会長 2-B 佐々木知生
 副会長 1-B 高田裕之
 1-E 高橋弥生
 書記 1-B 丸山真由美
 欠員
 会計 2-F 黒澤一裕
 2-F 白幡幸子
 欠員
 欠員

(1987年10月現在)

○総務公報発行（1、2号）

○評議会に会則改正基本方針報告

試験休み・夏休み

基本的には週3回、
実質ほぼ毎日開室

文化祭の準備（文化委員と協同）

○他校に招待状発送

○タレマクについて（後に中止）

○暗幕の数・寸法確認

○映画会準備（区に問合わせ、等）

○桜町高・新宿高訪問（ルクール委員と協同）

○クラブ対抗戦の企画・準備（クラブ委員と協同）

（○千歳高と連絡）

○会則・規則改正の審議

○中間報告作成（会計）

○文化祭の準備・運営（文化委員と協同）

○開会式・閉会式の準備・運営

○道具の貸し出し

○ピラ・ポスター・立看板等の管理

○暗幕の貸し出し

○他校の生徒会役員の訪問者の接待

○映画会の準備・運営

○案内板の作成

○総務企画の運営

○表彰についてのこと

よってらっしゃるを見てらっしゃ
生徒会籍のメインコーナー特集のはじまりだよ
よつそここの姉ちゃんかわいいねえとばさんならで
じっかり読んでってよ！

あらっせーのお姉ちゃん無視する氣なら？

そりやならみゆたひねー

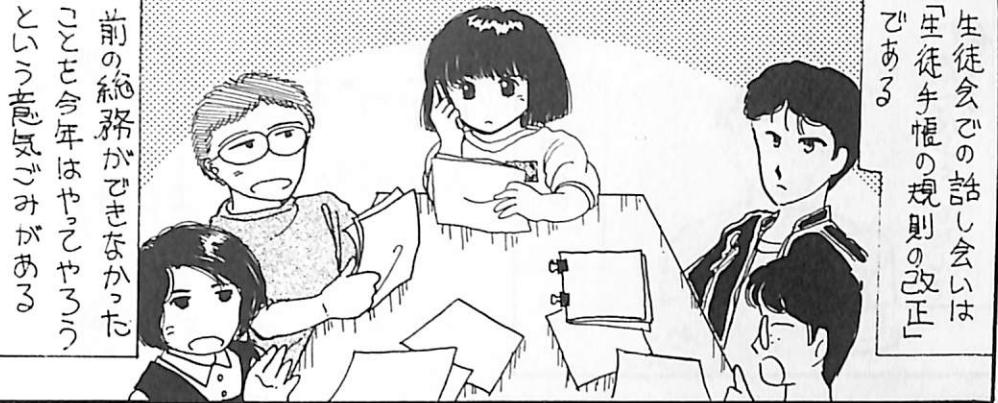
何せ今回は盛りたくさんのお題で君たちの団を
くきづけさつ！

みなきゃせんだよ

心の準備はひじから！？らへよ！
でははじまりはじまり……



生徒会での話し会いは「生徒手帳の規則の改正」である。

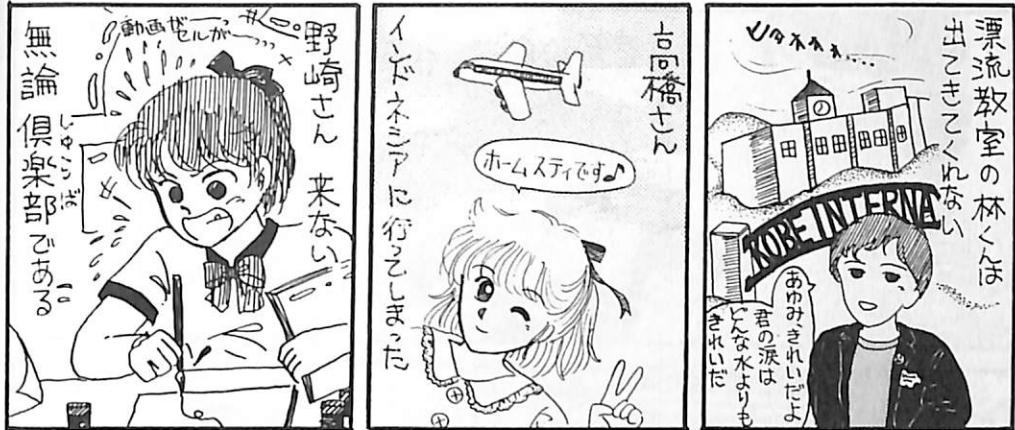


PM 12:00 お昼休み

皆それぞれ
お昼もどりまーす



総務の人達の行方は……
……ご、この五人以外の



★おしまい★

“生徒会” そう聞いただけで、何か近寄り難いという感じがしてしまう。毎回のように出る欠員。生徒会総務の役目つて何なのか、だれが役員をやっているのか、又、今どんな活動をしているのか、いつたい何人の人が知っているだろうか。でも、いきなり載せた、今のマンガを見れば、きっと親近感がわいてきたはず。

そして、少しでも、生徒会総務をわかつてもらえたのならうれしい。

ところで、松原以外の学校つていつたいどんな感じなんだろう？ とか考えたことは、ないだろうか。

そこで、我々、ル・クール委員は、他校の生徒会総務の活動、また学校の雰囲気を知るために、少し遠出をして、同じ都立の桜町高校と新宿高校を訪問することにした。その2校を選んだ理由については、あえて、ふれないことにする。

佐々木（以下佐）では、まず町高の生徒会総務の様子を：入江さん（以下入）町高の会長）ます：。任期が1年なんですよ。でも役員が4人なんです。（少ない。）

佐 4人しかいないんじや、たいへんでしょう：。

入 いえ、そういうでもないですよ。何かやるとすると、その時、その時に助つ人がいますから。ま、あんまり活発じゃないしね。

佐 うちは、欠員がいつもでて、うめるのに大へんなんですが、そちらはどうですか？

入 僕、会長やるの2年目なんですよ。今、3年生なんですが、1年の11月からやります：。

佐 えーっ。2年間会長ですか！（ア然）

入 他のメンバーも道づれですかね。欠員は出さないようになりますから、あと、メンバーみんな、けつこう、わかりあえて先生もいい人で、とてもいい環境なのでラッキーですよ。2年間やると、充実しますしね。

佐 そりやそうですよね。ところで、今、特に集中してやつてることつてありますか？

入 “食堂”をかえるキャンペーンといいまして、今までうちは、パンしか売ってなかつたので、何とかしたいということでやつてるんですけど……。4月ごろから強くアピールするようにしてきました。放送流したり、アンケート

それは、8月20日、真夏の太陽がギラギラとひかり輝く本当に暑い日だった。私、ル・クール委員代表と、我が校の会長の佐々木くんと、副会長の本田くんで、桜町高校を訪れた。まずは、門の所でお出迎え。（んーとてもよい気分）そして、つれて行かれたのが、美術室。ジユースとチヨコレートまで用意していただいて、ちょっと恐縮つ！ 入ってこられた会長さんは、これまた、貴ろくのあるお方で……さつ、ここで対談のはじまりはじまり……。



左から 2番目が入江会長、手前左は松原の佐々木会長



桜町高校

佐 だれか、死にでもしたんですか？（笑）
入 10年前に、事件おこしたんですよ。それで、次の年に
 “今度何かやつたら、行けなくするぞ”といっていたのに
 またやりまして。

佐 でも毎年、修学旅行に行く生徒は違うのに、今度こそ
 つていつたつて、無茶な話ですよね。（たしかに）

入 そーなんですよ。それでも、今年から行けるようにし
 たんですから、もー、あとは知らないって感じですね。
 （後輩のために…。そんけー）

沈黙の後……。

本田（以下本）いわゆる、この生徒会つてものに、一般的の
 生徒は関心を持つてるんですか？（初めてしゃべったー！）

入 それなんですよ。僕が1年の時からずっと悩んでいる
 ことなんんですけどね。生徒会っていうと、何か、堅いとか
 異様とかね…。（納得）やっぱりそーゆーのあると思うから
 ……。で、その辺のことって、ある程度もうくずれない
 て思うんだ。もう、ある意味で割り切ってるから。だから
 逆に言えば、いつしょに同調できないんだつたら、ひっぱ
 っていくしかないっていう…。だってみんな先生と生徒つ
 ていう感じで見るでしょ。本来 生徒会総務つていうのは
 みんなのものであって、みんなの要求することをやるつて
 いうのが本当なんだけど、こっちが何か言うと、上から、
 言われてるつていうイメージあるみたいで…。でも、しつ
 こく言つていれば、かならず、ついてくるよ…。うん。

佐 んー、なんか勉強になるなあー。ちよっと、順番が、

とつたり、僕が中庭で演説したりで、結局、みんなも関心持つてくれて、弁当を5種類入れたり、パンとかジュースの値下げをしてもらうことが出来るようになりました。あと、うちはけつこう、広報が活発でして、いろいろ出してきたんですよ。効果あつたと思いますね。（なかなかやるなー）

佐 演説とかやって、みんな聞いてくれました？

入 僕もそれは、心配だつたんですけど、やはりみんなの興味のあることですからね。何か、聞いてくれたみたいですよ…。（沈黙）

佐 あと、大きなことといつたら、文化祭ですね。ここ2、3年は、あまりにもり上がりませんけどね。あつそうそう、去年からなんんですけど、文化祭の時、生徒会からカンバンチを売っているんです。200コ作つて、全部売れましたよ。やっぱり記念に残るからなのかなあ。（英語でいろいろとかかれている、とてもカッコイー、バッチです。）

全員 わーつすごい！！

佐 何か、やることが大たんで、すごいですね。

入 でへつ。本当は、キーホルダーとか、Tシャツも、やりたかったんですけど、お金の方があ…、ねー。（そりやそうでしょ…。）

佐 その利益の方はどうしてるんですか？

入 現価で売るつてことで許可されているので、利益はなしです。

佐 話し変わりますけど、うちの学校、修学旅行なかつたんですよ。

逆なんですが、町高の校風つていうのは…?

入 そうですね。のんびりしてますね。(うちもつ!) 何かやる時に、足をひっぱるやつはいないけど、勝手にやればつていう感じの人ばかりですね、まー、ただ、楽しみたいっていう…。

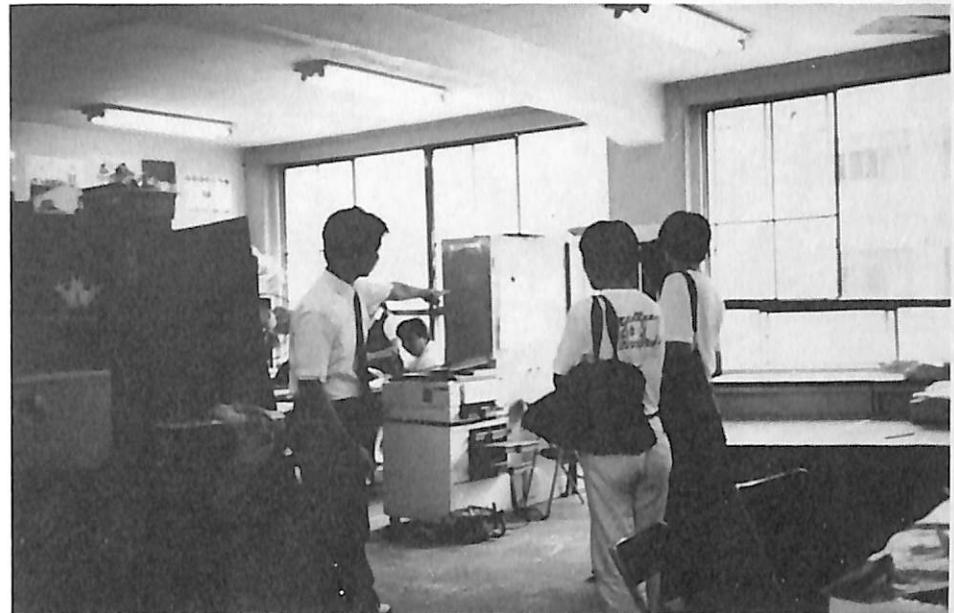
本 勉強は?

入 勉強は…よくないです。(笑)みんな入つてくる時はそれなりに…ね…。(うん!)ま、22グループはみんなそーですけど。

佐 制服がある、ということについては。

入 何か、共通意識が持てて、いいですよ。

佐 そうですか。



明るい桜町高校の生徒会室



新宿高校正門

それは、8月21日、この日も、真夏の太陽のギラギラと

ひかり輝く、本当に暑い日だった。メンバーは前日と同じで、今日の訪問先は、新宿高校である。新宿駅からの距離は長く(感じられ)何となく気も短くなりつつあつたが玄関で待つていてくれたのは、美しい女会長であった。

——下高井戸に住む、悩める新宿の美人会長——

本 (この方から話が始まるのはめずらしい) まず、年間行事は、何があるんですか?

宮本さん(新宿の会長、以下宮)えー。4月に入学式があつて…あたり前ですね。(二人でボケてしまうおちやめな人) 6月

に戸山戦(戸山と新宿の運動部の試合で、ほとんどが引退試合だそうで…)があつて、今年からは、6月に運動会があつて、9月に水泳大会、学園祭、2月に合唱コンクールとマラソン大会、あと年2回球技大会。3月に卒業式、とまーこんなもんです。

佐 けつこうありますね。うち、全然ないもんね。(たしかに)…で、もり上がりります?

宮 何か、もり上がる人はもりあがつて、あとは別に…、て感じですね。いろいろな行事にそれぞれ、対策委員があるんですけど、それをやる人も、いつも同じ人なんです。

ですから、総務はあまり忙しくないですけど、忙しい人は、年中忙いみたいですね、(なるほど)ところで、"生徒会"に一般的の生徒の関心つてあります

か?

宮 ない。(あっさりと)もし、だれが会長やつてるとか、総務室がどこにあるとか、みんな知らないと思いますよ。

あつ、そーそー、うちには道路問題委員会つていうのがあるんです。放射5号線と還状5号線がそこを通るつていうのの反対をするやつなんんですけど、燃えてたころは、ホント、すごくつて、署名したりしてたのに、一度通るつて決まつたら、もうダメ。一気に沈んでしまつたのです。

佐 やる時はやりますね。でも、つまり、行事に参加するの一部だけ:つてことですか?

宮 うん…。そのメンバーもいつも同じという…。

佐 クラスの雰囲気は?

宮 クラスによつていろいろだけど、全体的に言えるのは、とにかく、一つの話題(アイドルとか)で、わーつともり上がるつていうのがないの。何かへんだよね。バラバラつていう感じ…。

佐 ふーん。ちょっと、そーゆーのわかんないなあ。:そういうえば、新宿は、男女の比が2対1で、男子の方が多いわけだけど、それについては?

宮 私、個人でいえば、"じつかりしろよ!"って感じなの。(なるほど)行事でも、女子の方がめだつてたりするし。あつ、でも過去には、いたの。何か革命起こすぞ、みたいな男の人も。紙に印刷して全校生徒にくばつちやつたりして(すごい)でも、そーゆーのつて、ひんしゅくかつちやうのね。(そつかー)



87 88

左手奥が宮本会長 〈明るい女の子です〉

そーですかー。やつぱり、新宿つていうと、受験校つていうイメージありますけど、それがひつかかって、行事にも、もり上がらないっていうのあります？
宮 ありますねー。あんまり、言えないけど…。まー、塾でいそがしくて、学校休んだり…。(すごい!)だけど、少し前までは、東大だつて、けつこう入つてたのに、最近は2、3人しかいなくなってきたし(でもすごい)

現役で？

宮 それは、いろいろ。でも女子は大たい現役かな。あとまた塾のことだけど、クラスの一割くらいは、そーゆーのもふくめて、受験が、重くのしかかってるつてやつでしょうね。

佐 一割も！(一割も!)じやあ、授業中も静か？

宮 うるさくて、授業にならないってことはないけど、みんなそれぞれいろいろなことをやつてますよ。

佐 何か、いろいろと、予想もしてないことが多い、おどろきましたけど、まーお互いがんばりましょーね。

(チヤンチヤン!!)

てなわけで、対談コーナーは、おしまいである。うまく、言えなかつたりした所が多かつたが、なんとなく、でも他校の様子が、わかつてもらえただろか？個人的な感想を言うと、桜町つていうのは、静かで、新宿つてのは、すごい活発かと思つていたのが、まつたく反対だつたのでびつくりした。町高の会長は3年なのだけど、受験は、大じ

ようぶなのだろうか？などと、いらぬ心配までしてしまった。新宿の会長も文面では、本当に、うわべだけしか、わかつてもらえないだろうけど、いろいろと悩んでいて、かわいそくなくらいだつた。

とにかく、今回の訪問が決して無駄なものにならないよう、努力していきたい。そしてこの松原が、いろいろな面で繁栄していくように、みんなでもりあげていかなければならぬことも、確信した。

最後に、今日の訪問について会長の感想をいただいたので、それをしめとしたいと思う。

正直いって、僕は訪問をしてしまうまでは、とても不安でした。恥かしい話しですが、僕は他校の訪問というのに乗り気ではなかつたのです。めんどくさい、というのが一番の理由で、2番目、3番目には、わざわざ聞きに行くまでして、聞くような問題はないと思ったからであり、そしてへたをして、相手校の方々に失礼になつてはいけない、と思つたからでした。

ところがどつこい、行つてみると両校とも、親切に応対してくれました。また両校と本校では、生徒会活動の環境が違い、そこが興味深く、又それでいて、抱える問題が似ていてそこらへんも勉強になりました。これからも積極的に他校の訪問を行うべきだと思いました。

生徒会報告

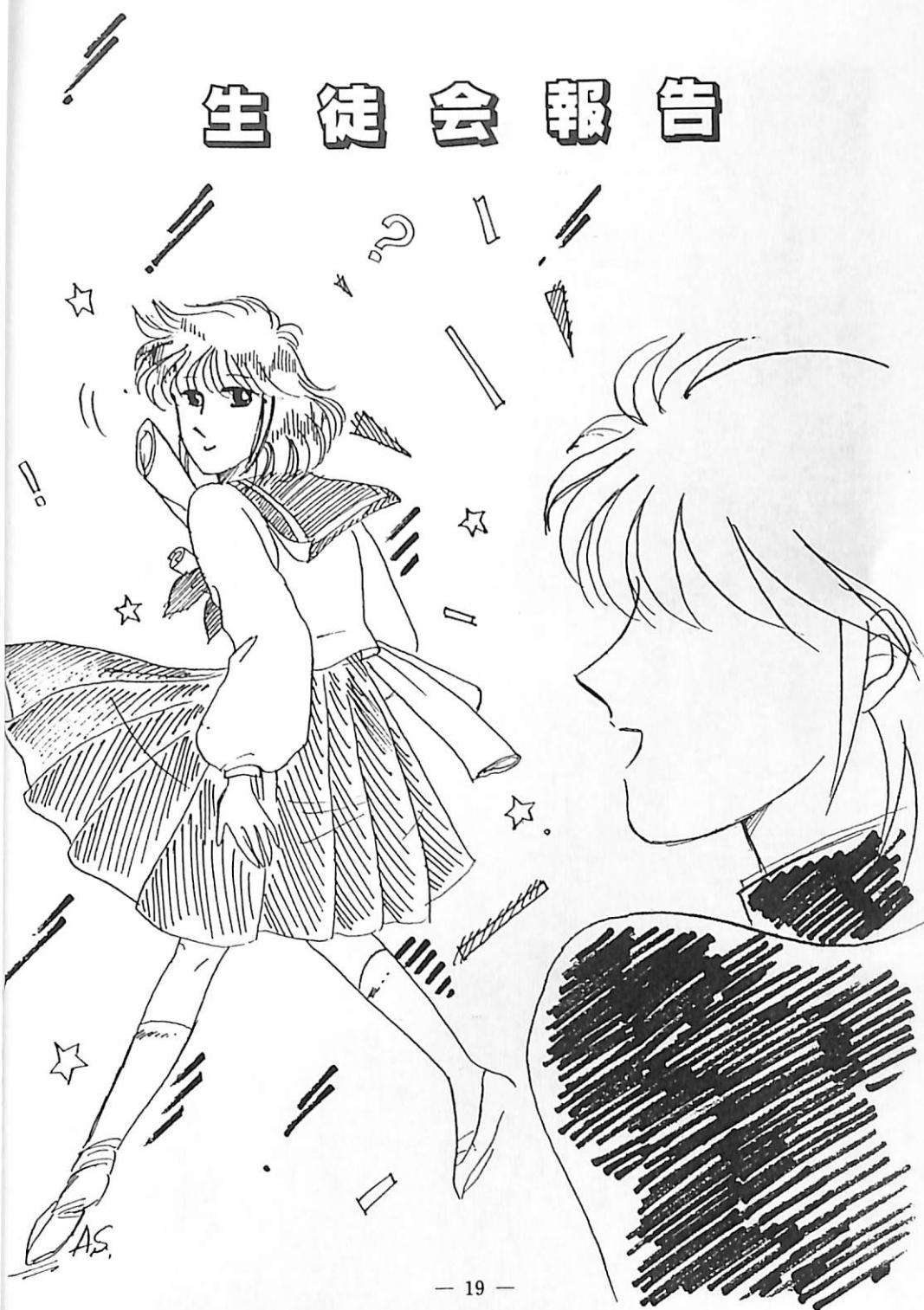
委員会報告

「委員会報告」ということで、委員会の日頃の活動を松高のみなさんに知つてもらうために、それぞれの委員の人達に、次の事柄について書いてもらいました。

- ① 主な活動内容
 - ② 改善したいと思っている点
 - ③ 生徒へのお願い
 - ④ 委員会のPRや委員になつての感想など
- 「委員会なんて、めんどくさい。」なんて思つている人も、高校生活を充実させるために、これを参考にして、来年はどこか委員会に入つてみませんか。

評議会

- ① 評議会の仕事は、たくさんあります。1. 生徒総会に提出する予算及び決算報告の承認。2. 生徒総会に提出する会則改正案・規則案の承認。3. 臨時委員会の設立の承認。4. クラブの設立又は廃止の承認。5. 生徒会の名をもつてする对外活動の承認。などです。しかし、実際にやつているのは①ぐらいでしよう。
- ② まず、評議会議員としての自覚を持つてほしいということです。評議会は、生徒総会に次ぐ議決機関で、前に記したような重要な役割があるにもかからず、欠席者が、とても目立つのです。評議会は、議員(54人)の $\frac{2}{3}$ (36人)以上が出席しなければ会議を開くことができず、流会になつてしまふのです。定例会の場合、5限目の時はまだ出席率が良い方で、6限目の時は、いつも集まりがおそく、人數もぎりぎりです。臨時会は、ほとんど流会です。評議会に友達同志で安易に入り、あげくの果てには、さぼつてしまふ……といったケースも少なくはないようです。
- ③ みなさん一人一人が、生徒会の会員なのだから、もつと積極的に生徒会活動に参加し、興味を示してほしい。
- ④ 評議会は、今まで述べたように生徒会の中でも重要な役割を持っています。それなりにカクゴを決めて入りましょう。もう流会なんてことにならないようにしましょう。
- 流会になると出席した議員は、はつきり言つてヒサンです。



生活委員会

①生活委員会の主な活動内容は、昼夜みの立ち番と遅刻防止キャンペーンです。その他に、体育祭や文化祭のときの警備も行います。

昼夜みの立ち番とは、担任の許可証なしに外出する生徒や入校する生徒を取りしめるものです。立ち番には、生活委員が一人週一回の割合で当番に当たっています。遅刻防止キャンペーンは、遅刻を減らすために行うもので、各学期に一回ぐらいの割合で行っています。キャンペーンは、8時25分からチェックを開始していますが、これは、一時間目の授業の準備などを考慮して5分早くチェックを開始しているのです。

②改善したいと思っている点は、昼夜みに売りにくるパン屋がこなかつたり、パンが売り切れたりしたとき、立ち番が逆効果になることです。9月2日に、パン屋がこなかつたので、弁当を持ってこなかつた生徒は、担任の許可証をもらってパンなどを買いたいわけですが、中にはフェンスをのりこえて日大のグラウンドに出た生徒がいて、日大から苦情がありました。

③最後に、みなさんへのお願いですが、フェンスをのりこえて日大のグラウンドに出たり、上履のまま外に出たりするのはやめて下さい。松高の近所の人々に悪い印象を与えますから。

整美委員会

①クリーナーの交換。流し場を洗う。廊下にあるゴミ箱のゴミ捨て。体育祭・文化祭の時のゴミ捨て。

②清掃しやすい環境を作ることです。例えば、清掃用具は、きれいで、使いやすいものに交換していくとか…。

③校内外の美化に関するこのことの、必要最低限のことは、やってほしいです。

④活動内容を見ると面倒そうだと思うだろうけど、いつもは、①の仕事のうち、どれか一つだし、体育祭や文化祭の時でも、分担してやるから、一人の仕事はたいしたことではありません。

整美委員会を一度やってみてはどうですか。

図書委員会

①昼夜み・放課後の本の貸し出し当番。新着本のカバー貼り。図書新聞の発行等。

②委員会だけでなく、当番までサボる人が多い。(困ったもんだ。) これはどうにかしたい。是非。

③どうか。お願いだから。みなさん、本の無断持ち出しだけはやめてー!!あと、本はきちいといつと、期限までに返してください。(図書室にくれば延期しますので…。)

選舉管理委員会

①私達「選管」は、主として生徒会役員選挙の準備、進行などが仕事です。そのため選管は立候補者集め、選挙公報の作成、「昼夜の会」騒動対策などのために、日夜、日頃使わない頭を回転させている。

②③昼夜の回については、「騒がしい」の一言ですが、これは松高内における生徒会の権威がないせい…などと思つてはいけません。「騒がしい」原因は、松高生の大半が自分達の所属する、委員会・クラブ等の頂点に立つ生徒会の重要さを知らないからだと思います。現に私もよくわかりません。生徒会を理解していない人にとって、生徒会役員選挙や選管は軽率なものにすぎないと思います。実際、私は軽率な人が大部分ですが、選挙の事になると少しは人間らしくなる奴ばかりです。だからみなさんも、そんな選管のために昼夜の会では静かにしちゃーくれませんか。

④そして最後に、選舉管理委員会はやりがいのある委員会なので、ヤル気のある方はぜひ来年度やつてみてはいかがですか——☆△◎ゆ／＼…◆●凸×!!♥□◆。



体育委員会

①体育祭の計画、準備、執行。球技大会。文化祭の後夜祭も同様。

②体育祭やその他の検討中。

③体育祭のアンケートや、その前の準備に協力してもらいたい。体育祭、球技大会、後夜祭にもつと積極的に参加してもらいたい。それと、これから内容で要望や意見をいつもらいたい。体育委員会の仕事に興味をもつてもらいたい。

④体育委員会は、やりがいがあります。特に体育祭など目立たせんが、体育委員会がなければ執行できません。やっぱ楽しいです。ぜひ体育委員会に入つて下さい。

文化委員会

①文化委員会の中から、数名集まって、執行部というのをつくり、毎週水曜日はもちろん、月曜日にも集まっています。執行部というのは、文化祭をどうすれば成功するのか考えて、決ましたことを水曜日の委員会で、文化委員の人間に伝えています。そして、文化委員がクラスの人に伝え、いわば、執行部と生徒をつなげるパイプの役目をしていました。文化委員会は、名前でもわかるように、文化祭を成功させるための委員会です。そのため、文化祭の二週間前は、毎日残っていました。執行部では「毎日担当の磯貝先生と城野先生の顔を必ず見てから帰るよう」と義務づけられました。

②夏休みのうちから準備にかかり、余裕で文化祭を向かえてほしい。文化祭近くになつて、あわてて動き出して失敗したら、一度きりの青春時代がもつたいない。

③来年も、悔いの残らないよう、がんばりましょう。

④入った時は、失敗したと思ってたけど、だんだんと文化祭に近くなるとたのしくなつてきました。しかも、文化祭と後夜祭が完全に終わつたあとは、感動しました。文化委員をやついて本当に良かったと思ひます。

来年の文化祭で感動したい人は、是非、文化委員に入つてみてはどうでしょう。最後に一言、来年もまた、「無気力なんて言わせない!」

「ル・クール委員会」

①主な活動内容といつたらやはり生徒会誌の編集／学校の様々な事、生徒会についてとか、体育祭・文化祭などの行事などについて、記事をまとめて本にするのでございます。各係に分かれて、それぞれ自分で原稿を書いたり、また、人様に原稿その他を依頼したり、その仕事は様々なのです。

②私は注文できる身ではありませんが改善点としては、もっと上級生下級生供々活発に意見を出し合つて、そして協力し合つてほしい、ということが言いたいです。

③皆様へのお願ひ！ 私共は皆様に読んでいただこうと思つて、こうして一生懸命生徒会誌を作りあげていきますので、どうか隅から隅までじっくり読んで下さいませ。また、一般投稿（詩や小説、カット用の絵など何でも）大歓迎。

「御協力を」

④この委員会は年一回生徒会誌を発行すればいいのですから、一見暇な委員に見えますが、実はそれは本人次第なのです。自分で原稿を書くにしてもアンケートをとつたり、インタビューをしてみたり探せばやることが沢山あって忙しい委員会なのです。さて、その面白さは、人それぞれ感じ方が違うので私がここでまとめる訳にはいかないのでございます。

放送委員会

①この放送委員会という奴はなかなかの人気者であった。校舎南棟の二階、校庭に面した校長室の真上に放送室がある。我々放送委員会はこの放送室も拠点として校内の生徒に対し数多くのインフォメーションを行なつてている。個人サークルの呼び出しはもちろんのこと、下校放送、それに体育祭、輝松祭、入学式、卒業式の全校放送は、この放送委員会が管理し、行なつてている。委員長をはじめとする三十名余りが約半数ずつアナウンサー、ミキサーにわかれ仕事をする。任期は一年間。当番をきめて昼の放送を行なう。なんと、あの昼の放送は毎日ナマ本番なのだ。仕事の他に新人育成もかかさない。アナウンサー、ミキサーにわかれたときにそれぞれのわかりやすいテキストを渡すので「誰でもカンタン！」なのである。

②今はごたごたがあつて中断して毎日の“昼の放送”を行なつていないこと。

④放送室内では、好きなレコード、カセットをかけて、聞けるから、むしろ委員会の中では、おもしろい方だろう。やる気のある者は、美声を、そして自分の好きな曲を校内に流すことができるのだ。

諸君！放送委員会はいかがかな？

新聞委員会

①新聞の発行、そのための取材等。

②無気力な委員長（兼編集長）を何とかしなければならない。とにかくそれが改善されれば、新聞委員会も、もつと、活気が出るはずである。

③発行された新聞をどうか読んで、できるならば、意見も、どんどん言ってきて下さい。

④あなたは、今の松高新聞の内容に満足しているのか？そうです！松高新聞を立て直したいと、お考えのあなた、新聞委員会へ来て下さい。

今ならあなたは、新聞委員会の中心人物になれるかも知れないのです。松高全体を大きくゆさぶることができるかも知れないのです。松高新聞を通してなら…。



クラブ紹介

吹奏楽部

みなさん！こんにちは。プラスバンドではなく吹奏楽部です。別にこだわってはいないのでですが、一応言つてみたかったので言いました。

まず、部員の事からお話ししたましよう。現在の部員数ですが、二十八名と少なく、練習を行つていけるギリギリの数ですが、なんとこの中には、男子がたつたの七人しかいないのです。つまり、全部員の四分の三が女子という、なんともうれしい……いや、なきれない状況です。

さて、部員の方は？と言うと、はつきり言つてよくわからない人たちが多数おり、例えば、変な歌を作り一人で、又は複数の仲間とともに合唱をすると言う、なんとも、不可解な行動をとる一年のAさんなど、言い出したら、きりがなくなってしまいます。

しかし、活動の方は、そうした人達とは何の関係もなくまじめに行っています。四月の入学式、対面式から始まり

五月の体育祭、八月の東京都吹奏楽コンクール（今年は、プラスマエスター、十一月の地区音楽祭、そして四月初めの定期演奏会。といった具合です）九月の輝松祭、十月のビバ（なんと銀賞だったのです）十月の輝松祭、十一月のビバ（もしあが部へ入部を希望するのなら、今すぐ音楽室へ行きましたよ。みんな待っています。『さあ！おいで！』

演劇部

水馬赤いな。アイウエオ。
浮藻に小蝦もおよいでる。
柿の木、栗の木。カキクケコ。
啄木鳥、こつこつ、枯れけやき。……

と、まず始めっから『五十音の歌』を出しましたが、そこで問題。さて、これは何部でしょう。…………

そう「えんげきぶ」です。

今年は、ちょっと部員が少なかつたので、文化祭には出ませんでしたが、ちゃんと松高に「存在」しています。で、そのあなた、「遊眠社」の野田さん、「ブリキの自発団」のように、飛んだりはねたり、まじめに演技したり笑いをとつたりしたい人。さあ、一度演劇部をのぞいてみませんか。

一同 お待ちしております。

焼栗、ゆで栗。ヤイユエヨ。

山田に灯のつく宵の家。

ワイワイわっしょいワイウエヲ。

植木屋、井戸がえお祭りだ。



前列左から

男バス 山田(2 D)、卓球 柴野(2 A)、女バレーボール 日紫喜(2 B)、写真 松村(2 F)

中列左から

陸上 石川(2 D)、山岳 桐生(2 D)、バトミントン 小川(2 A)、女バス 福島(2 D)、アニ研 三好(2 A)

後列左から

サッカー 菊地(2 C)、軟テニス 堀(2 C)、ワンゲル 弓場(2 A)、男バレーボール 植田(2 F)、生物 鈴木(2 F)、

硬テニス 城島(2 D)、剣道 丸山(2 F)、ブラバン 矢島(2 A)、ラグビー 相澤(2 D)、華道 澤中(3 E)、合唱 番場(2 E)

合唱部

合唱部はあまり目立ったクラブではありません。でも、週に2回の活動日（月曜日と木曜日）にはしっかりと活動し、がんばっています。そして悩みのタネは、部員が少なくて合唱もだんだんとやりにくくなっている、ということ。それに人気がいまひとつということです。

クラブの発表は文化祭の時に行っています。今年は、少人数ながら組曲「心の四季」に挑戦。その他にビートルズの中からライエスタディとミシエルも歌ったのです。去年より一步前進したように思われます。

その他の活動内容では、東京都地区音楽会（11月）と、東京都中央音楽会（来年1月）を予定しています。また、他校の合唱クラブとの交流もあります。

さて、みなさん。合唱部について少しでも分かっていただけでしょうか。人数も多ければ多いほど楽しさも増すものです。どうでしよう？ 歌の好きな方、思いきって音楽室へいらしてみませんか。きっと楽しい歌声があなたを歌

のとりこにすることでしょう。



写真部

暗い、臭い、何をやつているのかわからない。こんなところが、皆さんの写真部の印象でしょう。それらは果たして、皆さんの偏見でしようか？ 否！ 断じて否！ すべてが真実なのだ。

この奇妙な集団、写真部に、今年はいつたい何を勧ちがいしたのか、新入生が十二人も入ってきました。それも半数は女子！ という天変地異の前ぶれか!? と思われるようなことも起りました。

このようなかつてない盛況と混乱の下、写真部は体育祭・輝松祭等の行事を撮影し、撮影会や展示会、合宿等を実施し、新聞委員会やル・クールからの外注をこなし…、要するにまともな活動も当然やつているのです。

展示会は、今年から始めた新しい試みです。昨年までも行事の写真の展示は行つてきましたが、来年は撮影会等の写真や、できればカラーも、少しずつ発表していきたいと思っています。

このように、写真部は「何をやつてるのかわからない」部から、「何やら妙なことを企てている部」に変わるべく、ようやく重い腰をあげた所なのです。まかせて。



生物部

生物部は今一年生が4人二年生が5人という小さなクラブです。

けど、みんな一生懸命、部活しています。

ついこの間の文化祭の時も、たのしい実けんをしました。

そして多くの人の感動をさせました。

また、この部のいいところはすばらしい生き物の世界に入ることができます。

ひまな人はぜひ見に来てください。

今は人手不足で悩んでいますが、来年はもつと人数をふやして活気ある部にしたいです。

華道部

えー、毎度お騒がせの華道部です。文化祭で、華道部の展示をみに来て下さったみなさん、お忙しいなかどうもありがとうございました。この場をお借りしまして、厚く御礼申し上げます。

華道部の活動といえば、週に一回、卒業生で京都古流の家元をしていらっしゃる久野連翠先生（下高井戸在住）の御指導の下でお花を生けることです。それだけと言われるどもフタもございません。華道部ですから、対抗試合がある訳でもなし、他の学校の華道部のように、パンフラワー・ペーパーフラワーなどのような造花作りも行つてはおりません。これからることはわかりませんが、当分は、生け花 ONLYでやっていくと思います。

別に女らしい人ばかりが集まっている訳ではありません。（それはみなさんの方がよく御存知ですが）華道部＝おしゃかと決めつけるのは、すでに古い偏見となりました。「華道部」で抵抗があるなら「FLOWER・ARRANGEMENT・CLUB」とすると、なかなか良いように思いませんか。これからは、おニュー感覚で生け花を楽しむ時代です。思つてはいるよりずっと簡単に、お花つてのは生けられるものです。気軽に、のぞきに来てください。

アニメーション研究部

美術部

うちは、アニメをつくつてゐるんだよ。クラブ誌なんかもだしたりするし。しかし、はつきりいつてアニメをつくるのは、しんどいね。文化祭だけど、精神力と忍耐力、氣力体力、時の運(?)は運動部のみに必要さ。部員は少ないが(文化部の悲しいさがだね) 少数精銳でがんばつてゐるぜつ。(あー多いにこしたことはないんですよ、あはは…)— というわけで(どういうわけでしょ?) 何か、あと書くことあつたつけ? エーとー(必殺マスクせぎ!) あるといえればありますけど、ないといえないので、これでおわります。

まあ、百聞は一見にしかず、遠からば音に聞け近くばよつて目にも見よ、てなわけで部室は美術室ですので。では、これにて失礼。(乱筆乱文はおゆるしを…)



天文同好会

月ハレーと共に現れて ハレーと共に去つていく月 と歌われた天文同好会ですが、今日(10月9日)現在、まだ生き残っております。

活動人数は、一年生七名、三年生四名です。(ほんとうはもつといふんですが、幽霊部員ばかりなのです。二年生にいたっては、誰も活動していません。)

で、活動内容ですが、年数回の観測会に、文化祭でのプラネットarium投映、と一応はなつています。

一応、といったのには、きちつとした理由があります。

昨年、つまり一年目で活動したのは、月食の観測会だけなのです。他にも観測会をしようと計画しましたが、全て天候の都合により失敗し、プラネットariumもコケました。

今年も、次に書いてあるとおり、一回もまともな観測会はできません。

ましてや、兼部している者ばかりで、天文に専念できる人がいない我が同好会が、部になるのは、いつでしょ? また、二学期から月例観測会をやろうという話もありますから、これからも、マイペースでやつていこうと、いうところですかねエ。

柔道部

「昨年は、新入部員が一人も入つて来なかつたので、友達からは、「柔道部来年はつぶれんのお?」と言われ、OB達からは、「柔道部をお前の代でつぶすなよお!」と言われたので、「現在三年生が七人いるから最低でも三人は入れよお!」を、モットーに、他のクラブは二年生がやつていてるクラブの勧誘を、三年生自らが立ち上がりつて勧誘をしたが、反響はいまいちだったので、みんな肩を落としていたけど、日に日に新入部員が増えてきて九月現在では、な、なんと新入部員が十人にもなつていて、「これでOB達にも顔向かができる」とホッとした、なんていうくだらない三年生の独り言は、こつちにおいといて、ここで一年生の紹介をしますと、一年生という若さで部長になつた空手野郎を筆頭に、シャイな副部長、チヨツちゃんのお父さんに似てる奴、土曜日は練習に出られない奴、ちっちゃくてひょろひょろな奴、何があつても必ず弁当は食べる奴、いかにも柔道やつてるなつて感じの奴、たつた一人だけ男子には勝るとも劣らない女子部員、見てるだけで退屈だらうなあと氣の毒に思つてしまふマネージャー二人という構成になつていて大変フレンドリーなので、今からでも遅くはなから入部して欲しいと思いつつ、ここでこの文章には句点が使われていないということを何人の人が気付いたるうと思いながらこの文章を終わります。

剣道部

剣道部だよーん、部員は、三年生男子7人、女子5人、二年生男子9人、女子10人、一年生男子7人、女子6人の計44人で一部あぶない人がいます。例えば一年生の天然パンチパー・マのK君やアロハ・シャツを着ているチンピラみたいなO君、あと二年生で「いひひひひ」と笑いながら近づいてくる眼鏡をかけたちょっと小ぶりのM君、所かまわず大きな声をはりあげるY君、また、三年生の全身凶器のN先輩などいます。とてもこわいです。

顧問は、国語科の若きヒーロー金歯キラリの柳先生と図書の西条先生です。とくに、柳先生は参段で指導してくれます。とくに一年生はしごかれます。そのためみんなの目標は「打倒・柳先生」です。みんな燃えています。

みんな、部長の言うことを聞かないでこまります。さらに、いじめられています。もう死にそうです。しかし、ぼくはくじけません。いくぞー、やるぞー、勝つぞー。

おしまい



バドミントン部

「バドミントン」——暗い、遊び、楽なスポーツ、お正月にやる遊び——なんていうイメージを持つていてる人も多いかもしませんが、バドミントンはとてもハードで、きついスポーツです。その証拠に、バドミントン部の部員はみんな根性があり、動きはスバやく、目つきはするどく、ふくらはぎはたくましく、気はやさしくて力持ち、なのであります。

それでは私たちの部を紹介します。我がバドミントン部は女子20名、男子3名、軟体動物一匹の合計23名と一匹から成っています。この23名と一匹はとても仲が良く、合宿では「うすのろばかまぬけ」に燃え、白燃のあまり鼻血を出してしまった部員が出るという始末です。

話がちよつとそれてしましましたが、この辺で日頃の活動内容を紹介したいと思います。まず、「ファイトーはい、ファイトーはい」この獨得の眠くなるようなかけ声でランニングを始めます。そして体操、フットワーク、基礎打ち、ノック、試合と続きます。毎日の練習はとても地味で平凡ですが、23名と一匹は子守り歌のようなかけ声に耐えながら何かにとりつかれたようにシャトルを追って走り回っているのです。

こんなバドミントン部に青春を燃やしてみようと思つたあなた、入部してみるのもいとよろしではないでしょうか。

卓球部

みなさんの中には卓球と聞くと“卓球!? ダッセー”とか“あんな暗いスポーツなんか”と、思つてゐる人もいると思います。しかし、よく考えて下さい。ほとんどの学校に卓球部はあります。それだけメジャーなスポーツなのです。

“少しは興味あるんだけど、バカにされそうで…”とか“むずかしいから初心者じゃできないかも…”と、やりたいなあと思つていても××だから、とあきらめないで下さい。卓球は初心者でも平氣です。今いる部員の3分の2以上が初心者です。要是する氣と努力です。それさえあればどんどん強くなることを保証します。また、暗そうだからと思ってる人、はつきり言つてうちの部は明るいです。どういうふうに明るいかは、ここには書ききれません。とにかく見てくればわかると思います。

そして、うちの部は毎週OBの方々が大勢来て練習をみてきます。なぜ卒業してまで部に顔を出すかわかりますか？それは、高校時代クラブを一生懸命にやってクラブが好きだからです。クラブというのは高校時代の一つの思い出です。卒業してすぐ忘れてしまうようなのは良い思い出ではありません。卓球部は卒業しても“あの時は良かつたなあ”と思える部なのです。

是非、卓球に挑戦してみてください。僕達は待つてます。

卓球部部長 2年A組 柴野敬司

男子バレー部

僕たち、男子バレー部は、一、二年生合わせて十五人といふ少ない人数ですが、ヴォーカルがいたり、ヘビメタがいたりと、個性豊かな超豪華なメンバーでたのしくやっています。

バレーボールと言えば、矢のようなスペイクがビシバシ決まると思うでしようが、今年のレギュラーは高校に入つてからバレーを始めた人ばかりなので、まずそんなことはありません。でも練習のおかげで少しづつ決まるようになりました。まだ試合慣れしていないせいか、ミスが目立つてしまることが多く、力を発揮できずに負けてしまうことがあります。今は、ミスをできるだけ少なくして、チームのムードで試合ができるようにするために、いつもようけんめいがんばっています。

二年生は、残る公式戦は2回しかありません。レギュラートと他の人との差はあまりないので、互いに刺激し合つてチーム全体としてレベルがあがつてきています。各々の技術もついてきました。一年生も素質のあるのがたくさんいます。春に向けて悔いの残らないように、いつしきんめい練習して一つでも多く勝てるようにしていきたいと思ひます。

女子バレー部

我ら女子バレー部は、三年生六人、二年生十三人、一年生五人の計二十四人をあの服部先生と、すてきな井上先生が率いる部活です。

どんな部活かなって言うと、現役・OG共々、とても騒がしくって、あぶない話が好きで、体がなかなか逞しくつて、なにげに力があつて、みなさん美人で強い個性の持ち主で、部一背が高いのがマネージャーの高橋さんで……って感じかな。あと一つ、ちょっと弱い、ですがそのうち絶対強くしてみせますよ。

こんな部でも悩みの四つや五つ持つてます。一つに、一年生が少ない上に兼部者がいることかな。来年はがんばつて新一年生を入部させなきや。十人以上入れなければ、私が服部先生のお叱りを授けるのだから……。二つに基礎体力がないばかりに、我らの体はボロボロです。気持ちは若者だけど、体は腰痛に悩むお婆さんなのです。それだけ修学旅行から帰った次の次の日に新人戦が控えてるなんて、お婆さんは厳しいスケジュールです。

でもみんな私が休ませずに悔いの残らないプレーができるように、毎日腹筋・背筋を強化しているのです。このクラブ紹介を読んで「変な部活だな」なんんで思わないで下さいね。変だけど良い部活だと私は信じていますから。

部長は2Bの日紫喜由美子です。

女子バスケットボールクラブ

いつも二コニコニコマートに通うのが伝統となつてしまつた私達女子バスケットボール部は、現在、一年生六人、二年生七人十マネージャーさん二人の計十五名で、元気に楽しんでいます。コーチは、OBの先輩がやって下さっています。

練習日は、金曜日が定休、木曜日が外練の、週五日です。先輩、後輩の仲も良く、OGや三年生の先輩方も、ちよくちよく遊びに来て下さいます。夏の合宿でも、励まして下さいました。合宿といえば：なんといつても楽しいのは、OBの方々と夜遊ぶことです。いくら疲れていたって、全員なぜか参加しています。

私達女バスは、はつきり言つてあまり強くはありませんが、高校生活で楽しかつたと思うバスケットを目指してがんばっています。そして、これからもみんなで練習し、残つてある大会、練習試合に生かして、一つでも多くの私達なりに満足できる試合をやつていきたいです。

最後に、現在一年生の女の子。（男の子でも可）

マネージャーさん募集中です。やつてみようと思う人は是非、見に来て下さい。大歓迎です。

男子バスケット部

我ら男子バスケット部は、もちろんクラブ中も燃えていますが、それよりもクラブ後のおつき合いの方が楽しそうが……。なんて言ってバラして良いのでしょうか。何のことだかはみなさんのご想像に任せておきましよう。しかし、彼らは、やる時はやる！（私はそう信じたい。）たとえ、嵐がきて体育館が吹っ飛んでも、大好き（！）な教科の先生から呼び出しがあっても、部室がちょっと臭くとも、部員27人、マネージャー8人は、今日も元気に走り回ります。練習は火・水・土の週3日で少ないけれどもその分、夏休みに取り返します（？）。時間前には来てはりきっているし、マネージャーと5対5をやろう！なんてとても考えられないくらい人数は来るし、部員全員、「松高の男バス」という名のもとで青春しています。顧問の先生にも恵まれて幸せです。部員達もみな楽しそうです。こんなに恵まれていながら、なぜM達はいつも、いびられるのでしょうか。コケにされるのでしょうか。——こんな男バスでも、やる時はやつてくれるでしょう。4月には春季大会もあることだし、「Let's Go Fight！」の意気込みで我ら松高の男バスはがんばります。

硬式テニス部

我が硬式テニス部は、去年でやつと10周年を迎えたという、ちょっと歴史の浅い部ですが、顧問の清原先生を匹頭に、現在部員51人というところまでふくれあがりました。まあ、これだけテニスが流行している時代なので、お洒落なスポーツでかわいくて、けつこう楽しそう：なんぞと思って入部するときあ大変。筋トレもあれば合宿や合宿前のハードな練習がまちかまえています。そう、合宿のときのOB・OGは、良いお兄さん・お姉さんであり、鬼のようにおつかない人でもあるんです。そうなんです。歴史が浅いばかりにOB・OGもまだバリバリの大学生とかOL1年生とか若いんですよ。またこれが「最近全然テニスしていないからもう体力ないよ。」などと言つといてまたこれがタフなんですよ。そのかわりみんな上手ですよ。それに、練習さえ終れば、みんなやさしく楽しい先輩にもどるし……。だから一度合宿に行くと、みんなやみつきになつて、先輩のファンになる子までパラパラ……。

とまあこんなふうに、我らテニス部は、先輩・後輩・男子・女子とみんな仲良く和氣あいあいで楽しくやつてます。あつそれから初心者でも心配りませんよ。元バトミ、元バレ、元軟テ、元野球、元卓球、元プラバン etc..みんな大して変わりません。やる気があれば、ばつちりです。Let's enjoy TENNIS With us !

軟式テニス部

六時間ものながい授業をおえてホツと一息ついているとどこからともなくきこえてくる澄んだ声、「ソラーソラー。」忘れた頃にきこえてくる「巨人の星」のテーマソングふつとテニスコートに目をやるとそれは、ちまたで噂の、「軟式テニス部」

軟テは練習熱心な部員でいっぱい。練習におくれてくる者などない。だのに「おくれてすみません」といながらコートに入つてくる部員もちらほら。

軟テはかわいい女の子でいっぱい。買い食いする者などいない。だのにいつも駄菓子屋で「おばさん、これちょうどいい！」と叫んでるのは軟テ部員という噂もちらほら。軟テは男の子がいっぱい。だにちよつとばかり女の子より人数が少ないという、もちろん。来年はいっぱい入ります。男の子。

けれど軟テはOBの方をはじめコーチ、先輩みなさんの愛で支えられています。軟テにいるとお母さんのひざの上で、すやすや眠る子供のような暖かい安心感にひたれます。都会の生活につかれてしまったあなた、今からでもおそくはありません、安らぎを求めて、そして明日のウインブルドンを目指して軟式テニス部に入りましょう。

ソフトボール部

ソフトボール部は、二年生11名、一年生なし、一年生11名とマネージャー1名の合計23名の部員でできています。ね、ちょっと妙でしよう。二年生がひとりもないなんて、それに三年生はいそがしくてあんまりヒマがないから、今活動しているのは一年だけです。これはしんどい。でもあかるくてたくましくてカールい私達は、今日も元気に白いボールを追いかけています。

顧問は数学科の松永先生です。松永先生は足が細くて長くてカッコいい。ソフト部でただ一人の男の人です。もうひとりは英語科の奥谷先生ですが、私はこの先生が練習を見に来てくれた姿を今だから見て見えたことがない。先生、幽霊顧問はやめましょう。

前にも書いたように、うちの部員はホントにカールい人ばかりです。夏の合宿で宿舎のトイレの座イスをはずした人、野ザルのような人、面食いの人、試合中ずっと笑顔のままだった人など、書いてたきりがない。そもそも、こんな彼女達にカツを入れて引っぱっていく部長からしてとんでもないからなのだろうか。みなさんどう思います？

今のソフト部ははつきり言つて弱いです。だからもつと気合をいれて練習して、いい試合のできるチームにしていきたい。チームワークのよさはどうの学校にも負けません。おしまい

ラグビー部

我々松原Ruggermenは、橋本雄二監督をはじめ二年生十八人、二年生十六人、一年生十七人の計五十一人の部員で形成され、さらに各学年一名ずつのマネージャーから成り立っています。

ラグビーは個々の体形や性質が生かされるスポーツ&格闘技です。よつてありとあらゆるかなり広い範囲の人間が集まっています。アベジョージのそつくりさん、各学年にぜつたい人はいる宴会男、いつも夢の中のお花畠を走っているようなパッピーなヤツ、etc.....。

そして一旦練習になると、どこに隠れていたのか、秘めた集中力と真剣な眼光は凄まじいものをもつています。特に夏の合宿では体力の限界まで走り続けるのですが、日々鍛えてきた精体力を最大限に生かし乘越えてきました。その時の純な涙は僕らの心に大きく刻まれており、生涯忘れることのできない青春時代の思い出の一ページとなることでしょう。

という訳で、私達は自分達のRUGBYが出来るチームを目指して、日夜練習に励んでおりますので、どうぞこの私達を暖かく見守つて下さい。

これにて、RUGBY CLUBの紹介を終わらせて頂きます。

「気分はいつも、Kick off」

陸上部

陸上というとカール・ルイスといイメージをもつている人が多いのではないかと思います。ルイスはメキシコオリンピックの時、その非凡な才能のおかげで、四冠王となりましたが、今年おこなわれた世界陸上選手権の百メートルでは、ベン・ジョンソンに大差で負けてしまいました。それは、多分、一日4時間、週に6日の練習とその後1時間の筋力トレーニングというベン・ジョンソンの努力が報われたのではないかと思います。それは、ともかくとして、走ることは、すべてのスポーツの基礎なのです。例えば、陸上の強くない国はえとしてほかのスポーツでも強くなれないのです。これからスポーツを始めようと思っている人は、足がおそいから尻ごみしないで、全てのスポーツの基礎となる陸上から始めてみませんか。タイムは努力によって大幅に縮める事が出来るのです。

陸上では、短・中・長距離を中心に活動していますがほかにも、高飛び、幅飛び、砲丸投げ、槍投げなどもあります。シーズンオフには、例えば駅伝にも参加できます。我が部はあまり目立った活躍をしているようには見えないかも知れませんが、今シーズンは、四名の人が都大会に出場できました。

入部したい人は、MASCのジャージを着ている部員を見かけたら気軽に声をかけて下さい。

山 岳 部

山岳部には、山に興味がある人か、経験のある人しか入つてこない。そのためどうしても人数が少なくなつてしまふ。経験などがあつても入つてこない人が時々いるのは、『山岳部』という名前にあまりよくない印象がある人が多いからだろう。

人数が少ないために、アットホーム的な部である。目だたないやつは一人もない（はずである）。また他の学校の山岳部のようにすごいことはしない。うちの部は、苦しんで登るのではなく、たのしんで登るのをモットーとしている。そのため時々、一年より二年の方が荷物が大きいことがある。一度、一年と二年とをまちがわれたこともある。

また、顧問の先生の三人のうち二人が生物科で、上條先生は植物、小林先生は鳥にくわしいので、ただ山に行き景色を見るだけでなく、いろいろな動植物を見てくわしく知ることができる。生物が好きな人には、もつてこいの好条件にある。しかし、そのために生物の成績がよくなるとは確信できない。

また山に行くたびにおもしろいエピソードができ（たとえば寝方）、山以外の事でもけつこう楽しめます。

野 球 部

今年の野球部は去年に続き、スーパースターの集まりである。まずピッチャーミくんは、打てば30分打ち止めだが、投げる方は、バッターにプロテクターをつけなければならぬ控えの投手である。又、七カンドのS選手は入部当時ボートビルと言っていたが、現在日本に帰化している。同じく七カンドのR選手は、何をかくそう生物部の部長で、フナの葬式で部活を休むという、人情深い人間である。

さて、ショートのK選手は、野球部内でジャニーズと呼ばれ、OBは、彼が学校にローラースケートで通つていると本気で信じている。そして外野には、ピッチャーゴロを内野安打にしようとする、足だけは速いK選手がいる。しかし、一年の時ふられたせいか、足も衰える一方だ。

ライトしかできない八百屋のS選手は、生まれた時から肩が弱く、コールド負けをくらうという、まったくドラえもんとパンダの合の子である。そして最後に、練習中倒れて1ヶ月も入院したというレフト、サード、キャッチャー、ファーストとたらい回しにされたH部長は、最後まで、マネージャー（ノンノン以下二名）に頭の上がらないかつた、かなしい人間は、本書の作者である。

——つづく——

ワ ン ダ ー フ オ ー ゲ ル 部

我々ワンダーフォーゲル部、ドイツ語で渡り鳥という名のとおり、我々部員はいろいろな山へ出かけ、そして制覇してきました。

今年は昨年にくらべ、新入部員の数も増え、また活動を活発になるように努力しました。その結果が、次の通りなのです。

春の新入部員歓迎の山行では、表丹沢の鳥尾山へ、初夏の山行では奥多摩の御岳山・日ノ出山へ行き、秋の山行では奥多摩の御前山へ行き、そしてメインの夏合宿では、尾瀬へとおもむきました。そして、それぞれの山行で、それぞれの思い出を作つてきました。今また、新たにどこかの山へ行こうと計画を練つてゐる所なのです。また、夏休み中にOBなどといつしょに花火大会という形で、親睦会を開いたのです。

山へ行くことができず活動のしにくい冬は、今までと同様に昼食会などの催しを開く予定です。

サ ッ カ ー 部

試合結果

選手権大会

対駒場東邦	二対0	勝ち
-------	-----	----

対千歳ヶ丘	一対三	負け
-------	-----	----

総合体育大会

対町田工業	一対0	勝ち
-------	-----	----

対大泉	一対四	負け
-----	-----	----

こんにちは、サッカー部です。

部員は二年が三人、一年が一六年マネージャーが六人の計二十四人のごく普通の部です。

練習日は、月火木金曜日で土曜は練習試合をするためになつてあります。

サッカー部のOBは、みんな楽しい先輩達なので、時々サッカー部にやつてきてワイワイ、ガヤガヤ楽しくて先輩達とは、とても仲のよいのがサッカー部の特徴です。

それから、サッカー部の目標は都大会出場です。予選で三勝か四勝すればいいのですが、その三勝か四勝が、ながいことながいこと、たまたまもんじやありません。

とにかく、ごく普通のわきあいあいとしたチームです。

俱楽部活動 結果報告

天文同好会・観測会の結果
昭和六二年四月——星が一つしか発見できず。騒い
(校舎屋上) 止。
同年七月——わざわざキヌタまで行つて、見えたのは、
(キヌタ公園) 木星一つ。

同年九月——日食観測。しかし、会員の一部がワング
ルの山行途中に見たのみ。

——というように、内部に雨男がいるのか、観測会当日
になると、くもるので。前後の日は、晴れることが多い
のです。困ったもんだ。

ついでに、去年今年のプラネタリウムの結果です。
昨年——機械が熱を持ちすぎて故障。投映できず。

今年——ドーム、投映機共に、しっかりとものができ
たが、解説員の不足・多忙により、数回しか投
映できず。それさえも、不正解なところが多く
つた。

——というわけで。
天文同好会は今年もまた、「来年に期待」なのです。

卓球部試合結果

第三十七回世田谷体育祭卓球大会 R II 回戦

男子

榎本(松原)	1 — 2	吉澤(駒場東邦)	2 R
大沼(都立新宿)	2 R	上野(武工附)	2 R
太田(駒場東邦)	2 R	鈴木(都立駒場)	1 R
○松原 30 — 32 目黒		○松原 35 — 32 成徳	

この二試合は、両方とも前半は勝っていたのに、安心してしまいか、なぜか後半に逆転されてしまいました。

○松原 31 — 32 深沢

この試合は、やつている私達がびっくりするほど、なかなかみんながんばつてました。なんてつたつて、コーチに百二十点をもらつた試合だから…。

世田谷大会

○松原 23 — 34 深沢

世田谷大会は、公式試合と違つて、強いチーム、弱いチーム入り混つてやる試合です。そのおかげで、強いチームのPlayがみられて、勉強になりました。

招待試合

○松原 51 — 17 千歳

点差があつたせいか、ミスの目立つ試合でした。でも、勝つて良かった!

バドミントン部試合結果

インターハイ予選(春)

(個人戦)

西井	ベスト4入り	(3位入賞)	
小曾根	ベスト8入り		
小川	ベスト16入り		

(団体戦)

S ₂ · 小川	S ₁ · 新村	2 — 0 負け
D ₂ · 大田	D ₁ · 小川 · 新藤	2 — 0 勝ち
D · 小川	1 — 3 トキワ松	1 — 3 負け
松原	1 — 3 R	R II 回戦
S II シングルス	D II ダブルス	

女子バレー部の試合結果

夏季二部大会は八月二十三日（日）に松原高校を会場校として十数校が集まり行われました。ラッキーな事に松原高校はシード校でした。

2回戦 松原 15 - 15 桜

結果は負けてしました。この試合は負かされたのではなく、自分たちのミスで負けてしまった試合なので、とても悔しいです。この悔しさを忘れずに、11月の新人戦に向け練習しよう。

男子バスケットボール部

春季大会	四月十二日	芝にて
都松原	○ - ×	都赤城台
四月二十六日	専大附属にて	
都松原	× - ○	専大附属
五月二十四日	江東工業にて	
都松原	○ - ×	都江東工
五月三十一日	江東工業にて	
都松原	○ - ×	都三鷹
六月七日	都小岩にて	
都松原	× - ○	駒場東邦

この試合は、今まで一番いい試合だったのでは？夏期大会といい、この試合といい、なんと後半に弱いチームなのでしょう！

- 練習試合 松原 35 (14 - 14) 21 - 18 32 都・目黒
- 世田谷大会二回戦 松原 52 (26 - 21) 26 - 10 31 成徳学園
- 二回戦 松原 23 (6 - 21) 17 - 13 34 都・深沢
- 文化祭対抗戦 松原 51 (29 - 21) 22 - 10 17 都・千歳

まあ、こんなところです。これからは、勝負よりも思い出に残る試合を一試合でも多くやっていきたいです。

硬式テニス部

試合結果

男子	R ラウンド
7月	都立対抗戦（団体戦）
8月	世田谷大会（個人戦） 松原 2 - 3 向丘
8月	矢部 3 R 鵜飼 3 R 城島 2 R 坂本 2 R 徳間 2 R 堤 2 R 石合 2 R 高橋 2 R 宇野 2 R 松岡 2 R 矢部・徳間 2 R 城島・堤 2 R 長谷川・宇野 2 R
9月	高体連新人戦（個人戦） 城島 3 R 堤 3 R 石合 2 R 高橋 2 R 城島・堤 4 R 松岡・後藤 2 R
7月	都立対抗戦（団体戦） 松原 4 - 1 桜町
8月	世田谷大会（個人戦） 鎌田 4 R 中村 3 R 藤田 3 R 松尾 3 R 黒澤 2 R 武田 2 R
9月	高体連新人戦（個人戦） 抜田・藤田 3 R 上杉・黒澤 2 R
藤田 4 R 岡田 2 R 鎌田 2 R 中村 2 R 黒澤・松尾 2 R 阿部・石塚 2 R	

軟式テニス部試合結果

女子

9月六日(日) 団体戦 東京家政大附属高校にて

○松原 3 - 1 清瀬東

九月二十六日(土)伊藤杯（個人戦）砧総合グラウンドにて
一回戦

○松原（渡辺・駒形）	4 - 2	玉川
○松原（坂入・小竹）	0 - 4	千歳
○松原（峰ヶ・高橋）	1 - 4	調布
○松原（西沢・鯉渕）	0 - 4	学芸大附属
○松原（中畑・永井）	0 - 4	調布
○松原（久住・千屋）	2 - 4	学芸大附属
二回戦		
○松原（渡辺・駒形）	0 - 4	千歳
○松原（池田・小林）	4 - 0	園芸
三回戦		
○松原（小西・堀） 4 - 1 桜町		
男子 六月七日(日) 全日本選手権予選（個人戦）		
○松原（小西・堀） 4 - 3 足立西		
東京高校にて		

女子バスケットボール部の試合結果

夏期大会 松原 32 (13 - 1) 19 - 14 37 東京菅生

この試合は、相手が三年生を出してきたので、負けてしました。今度は二年同志でやりたいです。

練習試合 松原 30 (8 - 22) 22 - 22 44 都神代

夏期大会といい、この試合といい、なんと後半に弱いチームなのでしょう！

練習試合 松原 35 (14 - 14) 21 - 18 32 都・目黒

この試合は、今まで一番いい試合だったのでは？

ソフトボール部試合結果

八月二十二日(土)

○一回目 対都立第三商業Aチーム(初めての試合)

1-14 で三回コールド負け(相手は三年)

ひらさんの三星打

○二回目 対牛込商業

1-11 で五回コールド負け

どちらの試合も、点を入れることができました。

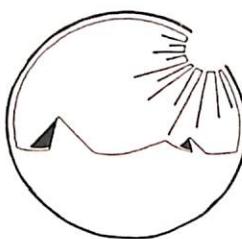
一年生だけのチームでよくできたと思います。

十月十日(土) 新人戦 三校リーグ戦

一回目 対都立志村 0-11で三回コールド負け

二回目 対都立第三商業 0-10で三回コールド負け

いい試合でよい。



寸前にT君の逆転トライなどがあり、一点差で逃げきつた。

その後、準々決勝で強豪、本郷高校と当たり負けはしたがベスト8に入り、秋の全国大会予選のシード校に選ばれ、優勝候補の一角にあげられた。

野球部試合結果

春季大会 一回戦 六十二年四月一日 対都立目黒

松	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
目	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

高橋投手の力投と守備の堅さでものにした試合だった。

二回戦 六十二年四月二日 対東大附属高校

松	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
東	0	0	1	1	0	0	0	0	1	3

勝てる試合だったが、守備のミスも少なく完勝した試合だった。敗因。

夏季大会 一回戦 六十二年七月二十二日 対日大三高

松	3	0	0	0	0	0	1	0	0	4
日	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2

初回三点とつて勢いに乗り、守備のミスもなく完勝した試合だった。

法一 法二

松	0	0	4	0	0	1	1	0	0	7
日	0	2	0	0	0	0	0	0	0	6

逆点また逆点の好ゲーム。春季大会の準優勝校にあと一歩に迫る試合も1回時間切れで、惜しくも敗退した。



ラグビー部試合結果

新人戦

一回戦 駒場東邦学園 対 松原高校(S 62・1・25)

4-18

二回戦 独協高校 対 松原高校(S 62・2・1)

0-16

三回戦 都小石川高校 対 松原高校(S 62・2・8)

10-4

春季大会

一回戦 都園芸高校 対 松原高校(S 62・4・19)

0-165

二回戦 都三鷹高校 対 松原高校(S 62・4・26)

6-17

三回戦 都田園調布高校 対 松原高校(S 62・5・3)

7-11

準々決勝 本郷高校 対 松原高校(S 62・5・5)

37-10

ベスト8

関東大会 日大二高校 対 松原高校(S 62・5・10)

28-19

選考試合 全国大会予選 麻布高校 対 松原高校(S 62・10・11)

シード校となり 0-39

4回戦進出

新人戦は油断して三回戦で負けてしまったが、春季大会

の持ち前の粘り強さを發揮した。三回戦では、ノーサイド

陸上部試合結果

第四支部学年別大会(6月20・21日)

一年男子一名と二年男子一名が二百mで予選を通過

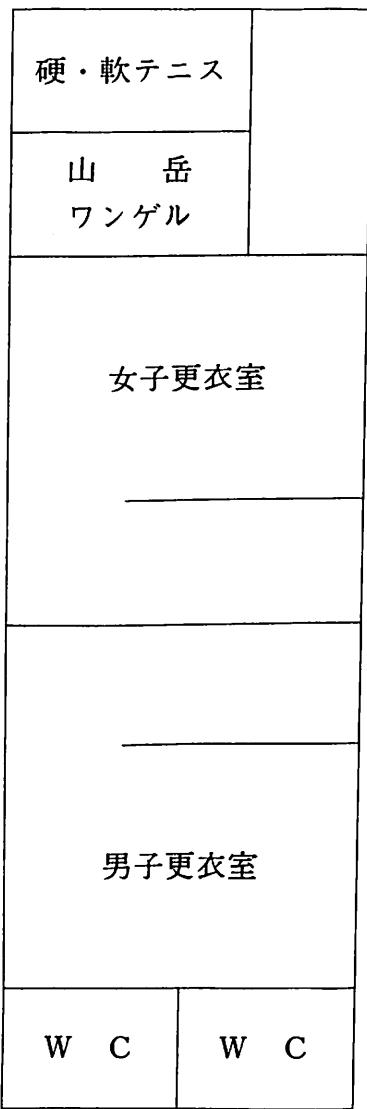
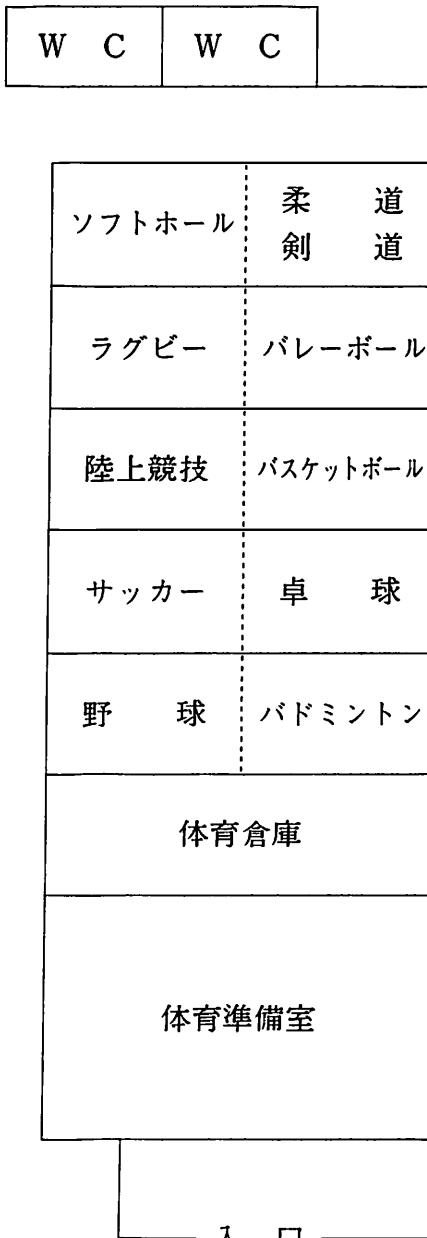
して準決勝までのこる。
二年男子一人と三年男子一人が高飛びで三位。

新人大会予選会(9月20・23日)

決勝まで行けた人はいませんでしたが各自よい記録
がでました。

体育館部室配置図

1987.4.27現在

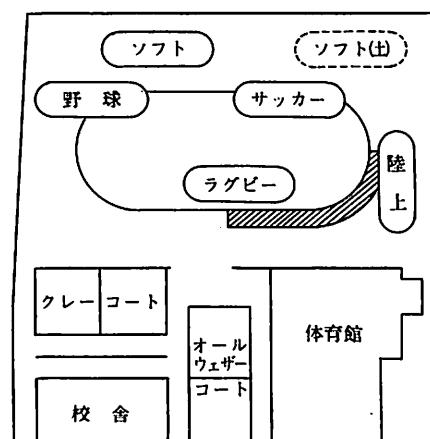


校庭使用クラブ一覧表

1987.4.27現在

	月	火	水	木	金	土
ソフトボール	○	×	○	×	○ ×	○
サッカー	○	○	×	○	○	×
野球	○	○	×	○	× ○	○
ラグビー	○	○	○	×	○	△
陸上	×	○	○	○	×	△
テニス	クレー AW					
硬式	○		○	○		
軟式		○	○			

AW=オールウェザーコート クレー=クレーコート



(注)斜線部分の使用については、

火	ラグビー部
水	陸上競技部
土	一週間おきに交替

が優先して使用できる。

クラブ委員会 '87

活動の現況

1987. 5. 現在

部	部員数				活動日						場所
	1年	2年	3年	合計	月	火	水	木	金	土	
1 ブラスバンド	9 / 16	3 / 11	1 / 4	13 / 31	*	*	*	*	*	*	音楽室
2 演劇	0 / 3	0 / 0	1 / 4	1 / 7	*				*		視聴覚室
3 合唱	0 / 2	0 / 1	2 / 4	2 / 7	*	*					視聴覚室
4 華道	0 / 4	2 / 1	0 / 8	2 / 13					*		大会議室
5 写真	6 / 7	6 / 1	8 / 0	20 / 8	*	*	*	*	*	*	暗室
6 クッキング	0 / 0	0 / 5	0 / 0	0 / 5	*						食物室
7 生物	1 / 0	2 / 3	2 / 7	5 / 10	*	*	*	*	*	*	生物室
8 アニメーション	0 / 3	2 / 6	2 / 4	5 / 13	*	*	*				美術室
9 美術	0 / 2	0 / 1	0 / 5	0 / 12	*		*	*			美術室
10 天文同行会	2 / 7	2 / 0	2 / 2	16 / 9	*	*	*	*	*	*	美術室
合計 男	18	17	29	64	—	—	—	—	—	—	
女	44	29	42	115	—	—	—	—	—	—	
男+女	62	46	71	179	—	—	—	—	—	—	

(注) 各欄の数字は、それぞれ、男子生徒数 / 女子生徒数。 *印は、活動日。

クラブ加入状況

1987. 5. 現在

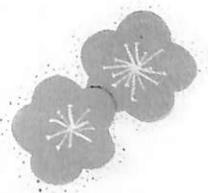
学年	文化系クラブ		体育系クラブ		合計	
	部員数	加入率	部員数	加入数	部員数	加入率
1 年	62	21%	178	60%	240	81%
2 年	45	16%	192	67%	238	83%
3 年	71	24%	176	59%	249	83%
合計	179	20%	548	62%	727	82%

1987年度クラブ

部	部員数				活動日						場所
	1年	2年	3年	合計	月	火	水	木	金	土	
1 矛道	7 / 1	0 / 0	8 / 0	15 / 1	*		*		*	*	
2 剣道	8 / 7	9 / 10	7 / 5	24 / 22	*	*			*	*	
3 卓球	2 / 2	3 / 5	2 / 3	7 / 10	*	*	*		*	*	
4 バトミントン	0 / 8	3 / 11	2 / 1	5 / 20	*	*			*	*	
5 男子バレーボール	6 / 3	9 / 3	6 / 3	21 / 9	*		*	*		*	
6 女子バレーボール	0 / 5	0 / 15	0 / 6	0 / 26	*	*			*	*	
7 男子バスケットボール	11 / 2	10 / 2	9 / 4	30 / 8		*	*				
8 女子バスケットボール	0 / 9	0 / 10	0 / 8	0 / 27	*	*	*		*	*	
9 硬式テニス	12 / 14	10 / 13	10 / 15	32 / 42	*	*	*	*			
10 軟式テニス	1 / 12	1 / 7	3 / 2	5 / 21	*	*		*	*	*	
11 ソフトボール	0 / 10	0 / 0	0 / 11	0 / 21	*		*		*	*	
12 ラグビー	14 / 2	18 / 2	18 / 2	50 / 6	*	*	*		*	*	
13 サッカー	14 / 2	14 / 4	5 / 3	33 / 11	*	*			*	*	
14 野球	8 / 4	9 / 3	7 / 0	24 / 7	*	*			*	*	
15 陸上競技	2 / 3	9 / 7	7 / 5	18 / 15		*	*	*			
16 山岳	3 / 0	3 / 0	9 / 4	15 / 4	*		*		*		生物室
17 ワンダーフォーゲル	2 / 4	2 / 0	9 / 2	13 / 6		*	*		*	*	美術室
合計 男	90	100	102	292	—	—	—	—	—	—	
女	88	92	78	256	—	—	—	—	—	—	
男+女	178	192	178	548	—	—	—	—	—	—	

(注) 各欄の数字は、それぞれ、男子生徒数 / 女子生徒数。 *印は、活動日。

行 事 報 告



遠 足

一年——箱根での飯盒炊事——

私達一年生は、箱根へ行きました。内容は飯盒炊事と散策というオーソドックスなものでした。

一年生にとつては最初の大きな行事で、しかもやつと新しい環境に慣れたかどうかといつたころだったので、班ごとに献立を決めたり、材料や器具を用意するのも、けつこう大変でした。それに何より、ちゃんと作れるか、が心配でした。昼食ぬきの遠足はきついですから。

当日は渋谷警察署前に集合で、そこからバスで箱根の湖尻ロッジングセンターへ向いました。あちらは天候がいいかげんで、日が出たり、くもったりするなか、屋根つきの炊事場で昼食をつくりました。初めのうちは、なかなか火がつかなかつたのに、一度ついてしまうと、屋根つきのため熱い、煙い、目が痛いで大変でした。出来上がったものも、炭のような焼肉、黒いご飯、灰の入ったデザート、野菜に火のとおつていないシチュエーなど、壮絶（？）なものもありました。（もちろんまともなものもあつたと思いますが：）そして面倒なのが後片付け。おこげのこびりついた飯盒を洗うのはけつこうしんどいものです。片付けが終わると散策です。A～C組は杉並木の旧街道を甘酒茶屋から恩賜公園、D～F組は芦ノ湖東岸の遊歩道を樹木園から箱根園まで散策し、そこからバスで帰ってきました。



この高校生になつて最初の遠足は少々オーソドックスでしたが、あのおこげだらけのご飯などは、良い想い出の一つになったと思いますし、新しい友達との友情を深める、といった点では大成功だったと思います。

二年——異国情緒の地 横浜——

私達二年生は、班別自由行動で異国情緒の町横浜に遠足で行く事になつてゐた。班別自由行動という事で行動表を班ごとに提出するのだが、その行動表というのがまためんどうなのである。行動表も完成して、あとは実際に行くだけだった。

当日、私達は東横線の桜木町駅に現地集合であつた。集合場所が皆家から遠いという事で、時間に遅れてくる者も多かつた。なんとか全部の班が出発した。ほとんどの班が初めに関内駅から、総展示物五万六千点ほどあり、重要文化財にされている県立博物館を見学して、その後、県立博物館から徒歩20分ほどの開港資料館に行く。ここには、日本最初のガス・ストーブや、人間の大人ぐらいの高さの地球儀など、珍しい物が展示してある。次に行つたのは、赤いくつ号などの観覧船のできる港に行った。うちの班は観覧船には乗らないで、有名な氷川丸を見学した。氷川丸は評判どおり大きかった。総トン数一万二千トンは、ほんとに凄かつた。だけど海にはゴミなどがたくさん浮いていて、とても汚かつた。ここで軽くお菓子などを食べた。そしてとうとう中華街に到着した。北京ダックなどは高くてとても食べられなかつたが、えびのチリソースや肉マンなどを食べた。中華街を出発した後は、皆目的がなくなつたみたいで、疲れがみえた。しかし港のみえる丘公園などに着くと

三年“ファンタステック・ランド”

今年も去年にひきつづきディズニーランドへ生きました遠足でここに行くと言われたときのクラスの反応はまちまちでした。いいように受けとめた人やちよつとしぶしぶしていた人がいましたが当になるとみんなさわやかな顔をみせてくれました。

入口で入場券と集合時間とを受けとつたら友達どうし集まつた班で一斉に行動をとつた。今年は、“キャブテンE.O.”があつたのでスペースマウンテン同様の人気ぶりでみんなを楽しませてくれました。

あるものすべてをすることはできませんでしたが、“ディズニーランド”というイメージにあつたものは、“イツツ・ア・スマールワールド”というものがそうだと思います。それは数人しか乗れない小さなボートで世界中の民族衣装をまとつた子供の人形がいるところをゆっくり進むもので、その人形は手、足そして首や腰を、心を幼少にさそうような音楽にあわせて動かしていました。その中にいる

となんにも考えずに無邪気に遊んでいた頃にもどつたような気分にさせてくれてなんとも言えないあと味を残してくれました。たしかにみんな楽しくして貰ったものにはちがないないがやっぱりこれは少しがつていて思える。集合時間になりみんな集まつて写真をとつた。ふと思つたことに300人ほどの松高生だが園内で会つたのは10数人

ほどであつたなあ——」こんなくだらないことだがそれほど広いということをつくづく思つた。

写真が終つたら自由参加の“エレクトリカルパレード”があつた。これは「良いよ!!」と何度も言われ友達といつしょに見たが、どうしてどうしてなかなかのものでした。テレビで放送されている音楽が流れ白・黄色・ピンク・青・緑など彩やかな電気をくつづけている色々な形をした乗り物がつぎからつぎへと出てきて、その中でも特に印象に残つているのは大きなきのこでくつきは黄色でかさの部分がピンク?の電気でピカピカしている中でかさの上にきれいな人がいて周りにいる人々に手をふつていたものであった。最初は人形かと思うほどでしたがそれが人間だとわかると思わず歓喜を発してしまいました。



少しは元気が出る。この後は外人墓地・人形の家・マリンタワーなど有名な所を見学した。最後に元町商店街を色々見ながら通りぬけて、石川町駅に着き電車で桜木町駅に行き、東横線で渋谷に向かい、帰つた。

この横浜への遠足は、まだ一度も行つていなかつた人は期待していたほど面白くはなかつたと思う。しかし友達と一緒になので、結局は面白く感じたのではないかと思う。この遠足で新しいクラスで友達を作り、現在は楽しく学校生活を送つてゐる人も多いと思う。10月に山口に修学旅行で行くための訓練にもなつたので、この遠足は成功したと思いました。

体 育 祭

五月十六日に行なわれた'87体育祭は、心配された前日までの降つていた雨もみんなの願いが通じたのか、晴天となりグランドコンディションがあまりよくない中始まりました。

今年の体育祭は、予想では、青白赤、各々の組の実力が接近しているように思えた。

今年からフィールド競技の一部（高とびと幅とび）だけが予選と決勝を分け決勝を体育祭当日に行なうという変更をした。これはなかなかいいことだと思った。なぜならばフィールド競技の決勝は、見てる人はいるといつてもさほど多くなかつたが、体育祭当日にやることで、見る人が非常に多くなり、競技をやる選手も非常にやる気が出ていい成績に結びついていったのではないかと思います。今年も去年同様に、フィールド競技の結果は、白組青組とさらに点差が開き赤組という結果になり赤組が上の二つの組を追うという展開になつた。当日トラック競技になると赤組が猛烈に追いかけて非常に緊迫した接戦となりしばらくの間となつていった。すべての組の人たちは、勝負は、「騎馬戦」「棒引き」「棒倒し」などの高得点の競技であると思つただろう。

午前中を終了して赤組ががんばつたのですべて組が接近していくたと思う。

ここで体育祭の前後に我タル・クール委員がインタビュー

ーした内容を紹介します。
○まず青組の応援団長さんにお聞きしました。

Q 青組の特徴は？

A 一般的の生徒もいっしょに応援するように言つて、それが成功したこと。だいこんおどり。

Q 意気込みは？

A 青組の応援団を三年間やつたけど、一、二年の時、両方とも二位というハンパ^{アシ}な成績だったんで、今年は絶対！という気持ちを僕個人だけでなく、みんな強く思つた。

Q フィールド競技の結果については？

A 参加点のことなどを学校の生徒全員が理解していなかつたので、青組が一位だったけれど、あまり喜べなかつた。どこの応援団もたいへん迫力がありました。

○次に白組の応援団長さんにお聞きしたことを紹介します。

Q 白組の特徴は？

A ふだんは、一、二年に何かおもしろいことをやらせるのですが、今年は三年男子がかわつてやります。

Q 意気込みは？

A 絶対に二年連続優勝します。どの団よりも大きい声でしつかりやります。

Q 意気込みは？

A 女子の点数が少し低い気がするが、全体的にまあまあだと思います。

Q フィールド競技の結果については？

A 優勝とはみんなのがんばりがあつてこそなせるものではないでしようか。

最後に、赤組の応援団長さんにお聞きしたことを紹介します。

Q 赤組の特徴は？

A 今年の応援は、赤組応援団員だけではなくて、赤組の人みんなが応援し合えるようなチームづくりに励みます。

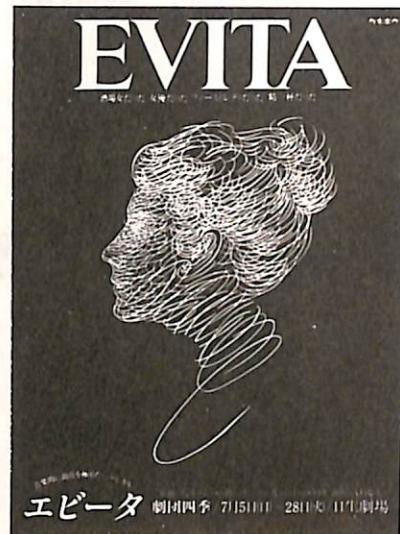
午後に入りよいよ勝負も佳境へ入つていった。青組が赤組に抜かれてしまい差も競技ごとにだんだんついていつしまい勝負は、白組と赤組の一騎打ちという形になつていつた。

勝負は、「棒倒し」と400mリレーとスウェーデンリレーなどにかかつてきました。非常に白熱ってきて、競技ごとにじわりじわり追いあげた。が白組が辛くも一点差で逃げきり結果白組が二年連続Vとなつた。赤組の人は非常におしかつたと思う。

総評として今年の体育祭は、近年にないもり上がり方と演出になつたと思う。前日からの雨のために例年泣き続けた砂ぼこりもまったくなく非常に状態がよい体育祭になつた。

今年から新たに、応援団の応援が、各組に時間を与えられてグランドすべてをつかつて行なわれた。これがまたすばらしかつたと思う。応援には疑問をもつている先生がた、もいらつしやると思うが、高校生なんだから別に今のままでいいと思うし、これからも今年のようにすばらしい応援になると思う。

今年の体育祭も幾つかの感動を呼びそれぞれみんな思い出を青春の一ページに刻んだことでしょう。



りて、説明をすることにしよう。「エビータ」とは、ア

ルゼンチン大統領ホアン・ペロンの二度目の妻であるエヴァ・ペロンの生涯の物語だったのだ。エヴァは、私生児として恵まれない境遇に生まれるが、女優となりやがて、ファーストレディとなる。しかし、その栄華の絶頂にガンのため世を去り、彼女は、「エビータ」の愛称で親しまれ、伝説の人となつた。

今年の芸術鑑賞は、「なあなんと」劇団四季とくるから、驚きであります。

題名も、「musical・cats」じゃなくて「EVITA」とくるから、驚きだ。

今となつていつたんだつたんだのだろうと

いう声が多く聞かれるが、そこでこの場をかり

もらいたかった。



Q. フィールド競技の結果については?

A. 赤組は毎年フィールド競技は弱いと分かっていたのでまあ、いつもに比べたらよく健闘した方なのではないかと思います。本番に力を發揮するのが赤組の特徴なのです。

1987年 9月19日(土)・20日(日)

第37回

輝松祭

1A 街、あるいは少年Aの死
1B ウエストサイドストーリー
1C ワンダーラビリンス
1D オーバーザトップツイー
1E 映画・十七歳の地図
1F たけしくん ハイ！

2A ねずみとり
2B レ・ミゼラブル
2C 热海殺人事件
2D リトルショップ・オブ・ホーリーズ
2E ビーバップ・ハイ・スクール
2F フットルース

3A 縁日、のど自慢大会
3B 喫茶店（映画・飲物・食物）
3C 模擬店（焼ソバ・ジュース）
3D 喫茶店（かき氷等）
3E クイズグランプリ
3F 喫茶店風

さる九月十九、二十日両日にわたつて開催された松高最大のイベントともいえよう輝松祭は、当日午前九時に体育馆での記念講演で幕を切りました。今年は、広大なアフリカを舞台とした、ライオンエルザの成長ぶりを記録した映画、「野性のエルザ」の上映でした。昨年は、アニメ「タッチ」で知られている日高のり子さんを迎えて行われました。昨年の印象の方が強かつたらしく、この上映は、ここだけの話ですが、あまり好評ではなかつたようです。

記念講演が終わつて、人気のなくなつた体育馆では、十時から始まる各クラスその他の団体による出し物を待つているだけでした。まず、初端は今年が輝松祭初経験の一年生による、「たけしくん ハイ！」でこちらの会場はスタート。この出し物は、みなさんも御存じでしようけれど、あのFF雑誌にちょつと怒りに行つたあのビートたけしさんの少年時代を物語つたものです。次は、午後一時から一時間半にわたり、吹奏楽部による演奏。この演奏を聞きにいった人は眠つてしまつたとか……（ま、そんなことは、なかつただろうけど）。づづいて彼の有名な「レ・ミゼラブル」あの体育馆の狭い舞台をフルに使つての大掛かりのミュージカル。本場物、とまではいかないが二年B組らしい味を出していでのはなかろうか。そして取りを務めたのが、一年B組の「ウエストサイドストーリー」。ここまで映画に近づけるかが見物であったが、まことに、あっぱれじやつた。ま、一応一日目は終わり、そんでもつて二日目も同じだから、あえて書きません。そんでもつてひと通り体育馆での出し物はこれで終わり。次は各教室。

各教室（劇・展示）

まず3年生の方から見てみると、やはり、喫茶店、模擬店などで楽しんでいたようでどのクラスもけつこう人が入つていたみたいで。その中でも（といつても他のクラスがダメだつたわけではないけれど）3Cの模擬店が人気があり、な、なんと今回の輝松祭の最優秀賞などとつてしまつたわけです。これに対しても批判の声も出ていたようですねれど……。

つづいて2年生は、全クラス劇で、それぞれのクラスの持味を出していました。まず2Aはアガサ・クリスティの「ねずみとり」、客入りの方は、上々だったとか……。Bは、前文と同じです。

2Cは、「热海殺人事件」。公演が終わつてから客の声を聞いてみると、「演技がうまかった」。の声が最も多かつたようです。2Dは「リトル・ショップ・オブ・ホーリーズ」。大道具のD組といわれるほど大道具には凝つていました。実際自分も見ておどろきました。2Eは「ビーバップ・ハイ・スクール」。このクラスは、なんかごちやごちやつていたようだけど、ま、なんとかできただようで……、このクラスは不良がいっぱい。2Fは「フットルース」。なんと演劇部門の優秀賞をとつてしましました。世界史の某先生曰く、「演技のC組・踊りのF組」。聞くところによるとF組のフットルースは前評判が高かつたという話がないにしもあるらす。

最後に1年生。1年生は輝松祭は初めての経験で、いろ
いろ難しいこともあつたかもしれません。でも、けつこう
どのクラスもうまくやつていたようです。一年生の方は当
日見学できなかつたのでこのへんでいいません。来年は記
事に載るようル・クール委員の人に言つてください。

有志団体の方に移ります。こちらの方は、毎年もりあが
つているようで、会場は熱氣でムンムン。バンドの人たち
も観客も汗だらだら。こちらの方も全部見たわけではない
ので一部の団体だけですいません。前以て心からおわびい
たします。では本題。女の子だけのバンド「chaps」は本
校の卒業生である渡辺美里さんの曲など……、男バスと
ビー部の集団「山田組」は、ちょうど自分が見に行つたと
きは「fif」を演奏していて大変もりあがつていました。ヴ
オーカルのKくんはいつもは○○ばかりやつていますがこ
のときは180度かわつていたような……。

いろんなクラスのよせあつめ「大魔神」。このバンドは
「BO & WY」を中心に演奏。ドラムのY君の前評判が高
かつたようですけど。結果の方もGOOD!!

最後のバンド紹介になつてしまふが「T'chers + α」
このバンドは、またまた世界史の某先生曰く「あんたたち
の担任は歌がうまいねえ」授業中この連発。

他いろいろなバンドがありましたが来年どうなるかが見
物。「またやるぞ」、「今年でおわり」、「来年こそはやつて
やるぞ」などいろいろみなさんの胸中はどうなつています
か?……。



アンケートの結果報告

1. 今年の文化祭のテーマを知っていますか。

はい——三六〇名 九四%
いいえ——一二三名 六%

(回答二八三)

このテーマについてどう思いますか。

○協力したいではよいテーマ

○松高生らしいテーマ

○一見松高生にはいいように思えるが実は皮肉にも
聞えたりする。

○もう少し抽象的なテーマに。

2. 文化祭の内容とテーマが合つてていると思いますか。

はい——一八七名 五三%
いいえ——一六三名 四七%

(回答二五〇)

○一部の意見しか掲載できず、とても残念に思います。
ご協力ありがとうございました。

3. 今年の文化祭で何がよくできたと思いますか。

- ゲート
- 有志バンド
- フットボールース
- 焼きそば
- 生徒の団結

修学旅行

二年生が待ちのぞんでいた修学旅行、中間試験が終わってから四日後に出発という準備にあわただしい中、いつの間にか当日になっていた。

十月二十七日朝七時半に東京駅に集合、八時に「ひかり3号」に乗つて出発した。広島駅着まで四時間半、これは長いなんでものはなかつた。一～二時間はトランプなどをしてひまをつぶしたが後の時間はすることがない、いきなり出鼻をくじかれた。

広島駅からバスで三十分、見真講堂という、うす暗い所で被爆者小松さんの講演を聞いた後、平和公園に行き、原爆資料館、原爆ドームを見学した。改めて原爆の破壊力に驚かされた。

それからバス、フェリーに乗り、一日目の宿、宮島の錦水館に当着した。そしてまたクラスごとに別れて被爆者の講師と広島を語る会をした。戦争の悲惨さ、平和の尊さを考えながらも、なぜ楽しい修学旅行でこんな地味な気分にならなくてはいけないのだろうと思つた。

とにかく修学旅行一日目は暗かつた。

ついに最後の日になつてしまつた。今までは10月末とは思えないぐらい暑かつたのが、うつて変わってあいにくの雨になつてしまつた。旅館からバスに乗つて秋芳洞に行つた、4日間の旅行の中で唯一、見る価値のある所だつた。自然が造りあげた雄大な芸術を堪能した。

小郡駅から全員が新幹線に乗り込むのに一分間しかなかつた。みんな大きいそぎで乗つた。東京駅まで5時間半、トランプもいいかげんにあきたひまだつた。

以上の事を簡潔にまとめる、とにかくひまな旅行だつた。初日に東京駅集合に遅れて平和公園で合流する者、津和野からヒッチハイクで宿舎に帰つてきた者、夜中にうろついて正座させられた者などいろいろあつたが、みんなの思い出になつただろう。

修学旅行と日本シリーズの日程が重なつたのは最悪だつた。

先生達が一番楽しそうだつた。

ついに最後の日になつてしまつた。今までは10月末とは思えないぐらい暑かつたのが、うつて変わってあいにくの雨になつてしまつた。旅館からバスに乗つて秋芳洞に行つた、4日間の旅行の中で唯一、見る価値のある所だつた。自然が造りあげた雄大な芸術を堪能した。

小郡駅から全員が新幹線に乗り込むのに一分間しかなかつた。みんな大きいそぎで乗つた。東京駅まで5時間半、トランプもいいかげんにあきたひまだつた。

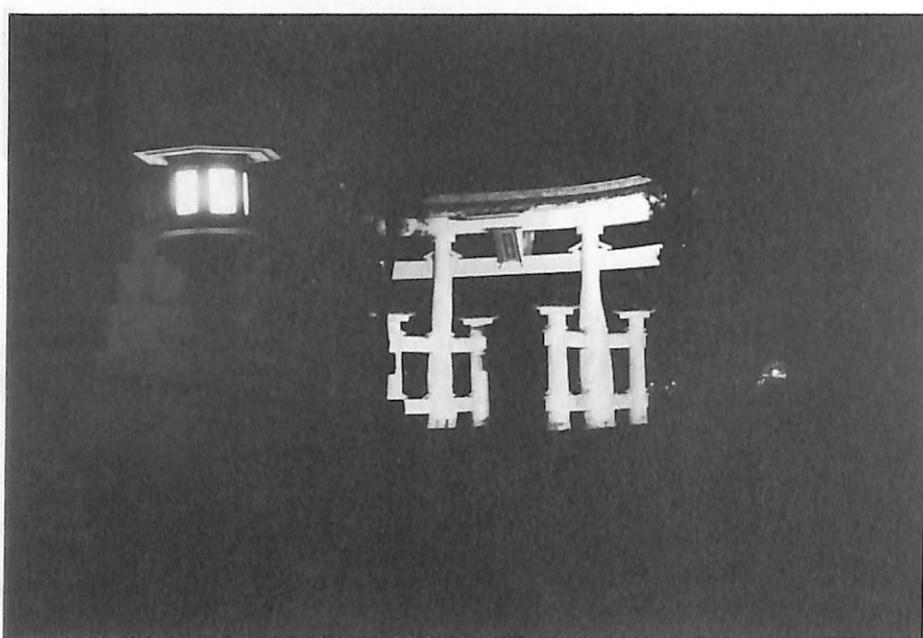
以上の事を簡潔にまとめる、とにかくひまな旅行だつた。初日に東京駅集合に遅れて平和公園で合流する者、津和野からヒッチハイクで宿舎に帰つてきた者、夜中にうろついて正座させられた者などいろいろあつたが、みんなの思い出になつただろう。

修学旅行と日本シリーズの日程が重なつたのは最悪だつた。

二日目、各班に別かれて自由行動、チャーターバスなどを使つて岩国、津和野などを周つた。岩国での見学場所は錦帯橋たつた一つ、見学場所といつてもたかが橋である。いつ帰つてくるだけ、それなのに入橋料として一人20円をとられる、ひどい話だ。津和野では自転車を借りて、市内を周つた。ありとあらゆる所にコイが泳いでいる。これだけいるとありがたみもない。森鷗外旧居もただのボロ屋だ、ほんとうに津和野は何もない。

三日目も各班に別かれて自由行動、青海島、萩などを周つた。青海島は島といつても橋を5分歩いたら着く所で船で一周してもすぐ終わつてしまふ。萩は見学場所が松陰神社ぐらしかなかつた。松陰神社は世田谷にもあるのでどうつてことはなかつた。しようがないから質素なわりには高い萩焼をおみやげに買つてきた。

二日目、三日目の宿、野原旅館はお風呂が立派だつた。岩風呂とパール湯の二種類があつた。岩風呂は滝が流れていでゴウカだつた。パール湯は、ピンクのライトに照らされて、ラブホテルの風呂みたいだとみんないつていた。僕はラブホテルに行つたことがないのでよくわからなかつた。食事は全体的に、品数も多く、とても美味しかつた。特に三日目の夜にてたフグの刺し身は東京では六千円にもなるという高価なものだつた。フグの毒に当たつてしまふのではないかと不安を感じたが、食べてみるとさっぱりしてて美味しかつた。最後の夜は疲れを氣力でふり払い、朝方まで大騒ぎした。でもお酒を飲んで酔つぱられていた



創作

入浴

新湊 まさみ

いい湯だなア……

「彼」は呟いた。〈湯加減も、申し分ないし、湯船も広いとは言えないが、一人にしては充分だ……〉

「彼」の入っている湯船は、俗に言うゴエモン風呂に近かつた。ただ、鉄製ではあつたが、なぜかその湯船には、湯を沸かすところがなかつた。

「しかし、こんなのがんびりするのは、久々だなア……」

「彼」は、顔に湯をかけた。〈今までずっと、狭つ苦しいところにとじこめられていたからなア。ま、今はこうやつてくつろげるんだから、いいとするか……〉

しばらく「彼」は、くつろいでいたが、ふと、湯水を、じつと見つめ始めた。

「一体、なんなんだなア……」

「彼」は言った。〈珍しいもんな、こんな飴色のお湯なんて……、新種のバスククリンかな?〉

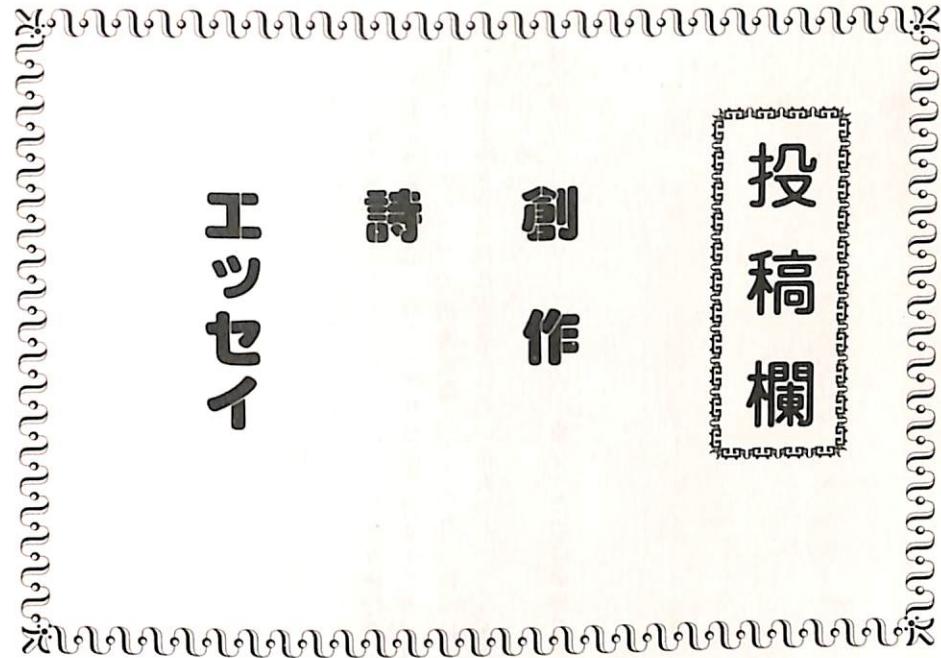
どのくらい、時間が過つたであろうか。

「彼」はのんびり、鼻歌まじりに湯船につかっていた。

劇作

詩

エッセイ



その時突然、ズドン、ズドン、という、ものすごい震動が、「彼」を襲つた。

「なんだ、地震か?」

「彼」は、身を起こしたが、震動はもう、来なかつた。

〈さて、今のは何だつたんだろうか……〉

そう思つた「彼」の目に、いきなり、巨大な物が目に

入つた。

それは、湯船の横にあつた。

それは、透明な箱で、中には、大量に白い砂のようなも

のが、詰まつていた。

「な、なんだ、これは……。こんなもの、今さつきまで、なかつたのに……」

「彼」はいきなり、つまみあげられた。

「ど、どうしたんだ……一体、これは……」

驚くのも、無理はなかつた。入浴中にいきなり空中に、自分はなにもしていないので、浮いてしまつたのだから。

アツという間に「彼」は、空中に不思議な力に放り投げられ、気が付くと、「彼」は真つ暗な世界に中にいた。

見渡すかぎり、暗闇だった。光一つ、音一つ、ない。

「彼」は呟いた。〈さつきの風呂は、エンマさ

ばつり、「彼」は呟いた。〈さつきの風呂は、エンマさ

まが、地獄へ来る前に、身を清めろ、ということだつたんだな。昔、じいさんから、聞いたことがあつたつけなア……

そして、「彼」は、深い眠りについた。



Finn

「しかし、なんだなア。毎晩毎晩、これじや、味氣無いな。――、ま、しようがないか。ティーバッグが一番、手軽だもんなア」

テスト最終日深夜の青春

二年B組 佐々木知生

「二次会行こうよ～～。」

Vさんがわめいた。既に彼女自身、ベンチに横になつていて、一人では歩くこともできない状態なのに、だ。そんな彼女と僕の目が合う。彼女が言う。

「あくま／ササキ君が私のことバカにしてるう～～。」

全く、世の中酔っ払いほど手のつけられないものはない。僕があきれて言う。

「調子に乗つてあんなに飲みやがつて、何考へてんだ。」

どうせ相手は酔つてゐるんだ。多少キツイことを言つても大丈夫だろう。

近くで地面に大の字になつてゐるのはZである。冷たい地面が気持ちいいのだろう。ZはRやQとともに男子では一番飲んでいた。イッキだけでも五回はしていた。

向こうのベンチで寝てゐるRの方へ行くと、彼は上体を起こして吐いていた。さつき食つたポテトやカラアゲが酒くさい臭氣とともに散乱している。見てゐる僕まで吐き気がしてきはじめた。僕はあわてて顔をそらした。

ふと時計を見るともう十一時。「すすめのおやどPAR T 3」を出たのが九時十五分だつたから、二時間近く歩きつぱなしの立ちっぱなしだつたわけだ。みんなの所へ行つて

向こうのベンチで寝てゐるRの方へ行くと、彼は上体を起こして吐いていた。さつき食つたポテトやカラアゲが酒くさい臭氣とともに散乱している。見てゐる僕まで吐き気がしてきはじめた。僕はあわてて顔をそらした。

ふと時計を見るともう十一時。「すすめのおやどPAR T 3」を出たのが九時十五分だつたから、二時間近く歩きつぱなしの立ちっぱなしだつたわけだ。みんなの所へ行つて

向こうのベンチで寝てゐるRの方へ行くと、彼は上体を起こして吐いていた。さつき食つたポテトやカラアゲが酒くさい臭氣とともに散乱している。見てゐる僕まで吐き気がしてきはじめた。僕はあわてて顔をそらした。

Rはそう言うと、安心したようにまた吐きはじめた。

向こうからくるのはE組の奴らである。E組は今回コンパをやらないので、他のクラスのコンパにおしかけながら渡り歩いていたのだ。さつきはF組の奴らも来ていたし、コンパの後我校の生徒の来るところといつたら大体代々木公園に決まつてゐるようだ。

ちよつと辺りを見回すと、ベンチにはアベックばかりである。とはいえて話をしてゐるだけなので、見ていても、おもしろくない。警備員もいるにはいる。だけどYのようく吐いてゐる奴がいても注意するわけでなし、立つているだけである。将来成るなら代々木公園の警備員が一番楽でいい、と思つた。

とかなんとかしてゐるうちにQとXさんが現れた。十二時近くである。PさんとCさんもやつとここにたどりついた。既にBはSさんやFさんといつしょに帰つてゐる。VさんはUがJさんはCさん達が送つて帰る。僕もそろそろ帰らないと、終電がなくなつたら大変だ。

僕の乗つた終電まぎわの井ノ頭線はけつこう混んでいた。僕の見たところ大部分は二十代以上で僕より年上だつた。一年のときからかれこれコンパは五六回目だが、仲間がこんなに酔つたりしたのは初めてである。ただ、今回のコンパが今までで一番おもしろかつたのもたしかである。

「はつきり言って『友達に誰にも言えない相談をする』

ベンチに座ると、隣で寝ていたJさんが言つた。

「ササキ君戦争の話してよー。酔うと戦争の話し始めるんでしょ。」

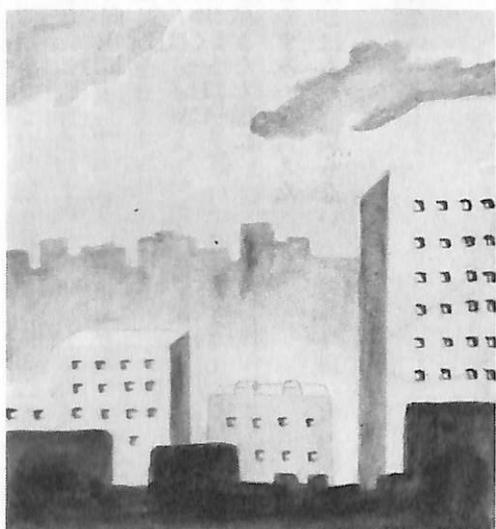
うーん、どこから聞いたのだろう。僕が一年のころ部活のコンペでソ連の自動車化狙撃師団の話を突然始めたことが広まつたのだろう。噂は怖いものだ。

「ねえ、してよー。」

全く、世の中酔いどれ女ほど手のつけられないものはない。仕方ないのでカンボジアのボル・ボト政権の話からはじめて中越戦争の話をする。理解しているというふうではないのだが、やめると怒るので、話を続ける。そうしていればJさんは満足そうな顔をしていた。

普段それほど調子に乗らないLやFまで、「酔つたー。」と言つてゐるし、女子でもVさんやJさんはフラフラである。Dさんの顔はトマトのように真つ赤だし、FさんはZの持つてゐたサングラスをかけてはしゃいでいる。QとXさんは二人で肩を組んだままどつか行つちやうし、それを探しに行つたCさんとPさんの二人とはここに来る前に別れてそれきりである。その他、とにかく、シラフなのはわずかだ。

Rが、
「ササキー、このこと月曜日は忘れてくれー。」
と言う。いい笑い話のネタになるところだが、考えてみれば僕自身、一年の頃酔つていろいろしゃべつてしまつて、その後大変だつた。



※ この物語はフィクションですが、実在の人物・団

体とは一切関係がありません、とはまんざら言い切れないことを付記しておきます。

とか『心を開いて語り合う』なんて酒でも入らなきやなかなかできないものだ。つまり、『美しい青春』にコンパは必要不可欠なのだ。そこらへんのことがわかつてゐるから、先生も多少のことは黙認して下さつてゐるんだろう。

小田急線にゆられながら、そんなことを考えた。

窓をあければ

しん みなと

窓の向うに
輝く夕日

眠りゆく一日に

窓をあければ

まぶしい朝日

「おやすみ」を言えた

起きたばかりの朝に

去りゆく夜のために

わたしはもう、戻らない

「おはよう」を言えた

わたしはもう、いない

戻れない……

それは遠い昔のはなし
ずいぶんまえの
しあわせだった
たのしかった
あの人との思い出と一緒に
葬り去ってしまった
あの時のわたし……



エッセイ

かみかみ

松原高校の生活

三年A組 横嶋紀子

松原高校は、他校に比べると規則があまり厳しくない。特に私立高校と比べると、自由である。服装は私服で、アロハシャツとビーチサンダルの格好と、高校生らしくない服装でなければなんでもよい。私立では、制服の丈の長さが長いとか、ボタンをしめるなど、皆同じ格好で強制されている。この点だけでも私服というのは、ずいぶんのんびりと、毎日の高校生活を送ることができると思う。

自由な面は、まだまだ沢山あるけど厳しい面もある。それは、遅刻二回で欠席一になつてしまふことである。他校では、遅刻三回で欠席一といふところもあるそうだ。だからうつかり遅刻だからいいやと思つてしまふと、後でどん

でもないことになつてしまふ。でも、何で松高は欠席の面で、こんなにも厳しいのだろうか。それは、学校をさぼってしまう人が多いので、さばらないようにするため、出席のことにについては厳しいのだと思う。でも、この規則のために何人かは苦しめられている人がいるが、ほとんどの人は何も気にせず過ごしていると思う。自分のことについては、しつかりしているのかかもしれない。

自分のことはきちんとできるが、全体で何かやるとな

松高と私

二年F組 角田房子

松原高校は、一言で言えば、「とても住みごこちのよい学校」と言えると思います。いつもアットホームな雰囲気で校内暴力のかけらも見えず、落ち着きのある、一見理想的な学校のように見えます。

しかし、中をのぞいてみると、はつきり言つて何に対しても無氣力で、ここぞという時の力が欠けている。またまわりがなく、勉強をしない学校と言ってしまふのではないで

しょうか？

私はこの学校の無気力さが好きで、嫌いです。ぬるま湯にどっぷりつかっていて、普段は気持ちよく、とっても楽で、本当に住みごこち良いのですが、いざ何かやろうと思ふと、人一倍努力が必要でぬるま湯から抜け出しができず、もがいてしまいます。

印象を持つてしまします。みんなが「樂をしよう。」と思つてしまふのか、はたまたいつもぬるま湯につかっているので、そこから抜け出せないのだろうか?

祭にも受験にも、その他の何かにも、集中できずにもがいています。高三にもなつて授業中寝てしまつたり、数学の小テストで0点をとつたり、本当に自分でも何をやっているのだろうかと思つてしまひます。しかしこれが、この松高で培はれた氣質、気風と言えるのです。

ねるま湯の環境こそ松高の良さで、悪さだと思うのです。三年間、私はのんびりと松高生らしく過ごし、松高の気風を身につけ、松高生らしく卒業して行くと思います。その時、私には松高の何が残っているのでしょうか？

は、これらの曲は、楽器編成の大きいバンドの為に書かれたものだからだ。「エルザ」はオーケストラ編成の曲、「アリヴァーマー」は、ピックバンドの為に（この曲はカンザス州の中学校選抜バンド七十五名の為にバーンズが書いた）作られたものである。中小規模のバンドが、このような曲でチャンレンジするのは大変難しい。また、人数の多いバンドでも、ハーモニーを作る上でバランスよく各パートに分かれないと難しい。それなのに「メロディがきれひだから」「楽しい曲だから」で選んでしまう。自分たちの現状にかけはなれたことをやろうとする。それが問題だ。また、豊島十中などの全国一立クラスの楽団は練習を引

画的に無駄なく行っている。一日の時間割はもちろん、年間計画も立ててある。新入生は、四月から六月は基礎体力づくりのため運動部と合流、七月から九月は教則本による基礎練習、打楽器などは、スネア（太鼓）をバラし組み立てるという作業もする。楽器を知るために行っているのだそうだ。十月は十一月の文化祭の練習、その後は、また基礎練習、そして、それに並行して卒業式の練習等も行う。二年になると入学式、体育祭の準備、六月よりコンクール準備。本格的に演奏するのは二年生から、それまでは例外なく基礎練習をする。「小学校でやっていた生徒も、この一年で大きく成長する」と先生はおっしゃる。一年基礎をたきこまれるため相当なテクニックを身につける。そういう人たちが演奏するのだからハーモニーもたいへん清く美しい。だが、この演奏を聞いた生徒たちは「私もできる」

吹奏楽を考える

三年F組 岩田芳直

今、中学・高校・大学を中心に約八千の吹奏楽団がある。戦後、安く良質の楽器が出回り、吹奏楽団の数が飛躍的に増したのである。しかし、近年、演奏のレベルが一向に上がってないようと思われる。それは一体どうしてなのだろう。

「エルザの大聖堂への行列」（ワグナー）、「アルヴァーマー序曲」（バーンズ）は、最近よく演奏される曲であるが、同時にさまざまな弊害を生み出した曲と言われている。これらは、コンクールを通じて話題になつた。「エルザ」は昭和四十一年の秋、東京豊島十中が、大編成で、しかも豪晴らしいテクニックとハーモニーで演奏した。「エルザ」を中学生が演奏したことは当時話題となつた。そしてその後数年間、あちこちで「エルザ」が演奏された。

「アルヴァーマー」は五十七年全日本吹奏楽コンクール課題曲、軽快なリズム、親しみやすいメロディーで、好評を得た。どちらも大変豪晴らしい曲なので、自分たちもチャレンジしたくなるのはもつともだが、そのまま演奏曲目として選んだところに問題があると思う。流行に流される態度をミーハー的感覚といいたいが、それが今の吹奏楽のレベルアップの妨げとなつていいと思う。

この二曲は、どこのバンドでも出来る曲ではない。それ

「エルザ」を演奏したが、豊島とは内容的に大きく違っていた。
現在、吹奏楽のレベルが上昇しないのは、曲の画一化傾向と基礎練習不足にある。この点を大きく改良すれば、どのバンドも大きく成長し伸びるものである。

中小編成であつたら中小編成の曲をやればいいと思う。大編成ほどの迫力はないが、美しいハーモニーがそこにはいっぱいある。しかしそうならなかつたのは、「あの学校が演奏したから」というミーハー的感覺が邪魔をしていたためだ。ゆつくりじっくりさがせば、素晴らしい曲はきっとみつかる。その中で自分たちの十八番を作り、それを自分たちのカラーにしてしまうのだ。どのバンドとも違う、自分たちのバンドが誕生するはずだ。

そしてもつともつと基礎をしつかり身につけるべきだ。

そしてもつともつと基礎をしつかり身につけるべきだ。なんにでも言えるが、基礎を固めないと応用は無理というものだ。今、たいていの学校の練習状況を聞いてみると、ほとんど無計画のようである。その点を考えてもらいたい。音楽は楽しいものだ。だが、これらの弊害のために本当の音楽の楽しみが失われているのではないか。本当の楽しさは、苦しくつまらない基礎練習を越えてこそ初めて得られるものだと思う。一步一歩進まなければならぬのだ。

注1 「トレイジャー」初級用教則本
注2 「トレイジャー」中級用教則本、和音学習用で
は、完成度が高い。二冊とも(株)日本楽器銀座店
にあります。

注2 「トレイジヤ」中級用教則本

に実感度
があります。

新聞記事「知床伐採反対町長の誕生」

確かに、五月上旬だつただろう。新聞を読んでいた私の目に、「知床伐採反対町長の誕生」という見出しが飛び込んできた。それは、北海道斜里町で、知床国立公園内の国有林伐採反対を強く訴えた午来昌氏が、伐採容認の前町長を選挙で破り、前例にない新町長としてその職についた、という記事である。そして、記事の内容はこうであつた。

この選挙は伐採の是非をめぐつて、町民の意識を問うものだったので、将来の方向をも暗示する大きな意味をもつものであつた。午来氏が出馬を表明した時は、大きな組織、団体、支援もなく、ただ氏の強い危機感と有権者的情熱共感だけだつた。それが卑劣な伐採により、町民の危機感が目覚め、「奇跡の逆転劇」となつた。環境問題への認識は、日本でもようやく新しい流れになろうとしている。

とにかく私は、新町長午来昌氏に、氏を支持された町民ひとりひとりのみなさんに、大きな拍手を送りたい。「知床の森は町の文化の原点。町民の宝だ。」という氏の言葉から、伐採がどれだけ危機的なることであるかを今さらながら知らされる。

私は今まで二度、北海道を訪れたことがある。そのうち一度は、この逆転劇の舞台知床へ、ほんの短い間であつたが行くことができたのである。私にとって北海道とは、以前から一種の憧れの地であつた。ここでは人も、自然の中

の一部として生きているように思われた。そしてそのことが、東京で生まれ育った私には、どれだけ素晴らしい衝撃的なことだつたか、今も忘れることができない。

昨年以来、しばしば知床伐採の記事を見て、このままでよいのだろうかとは思うものの、私には何もできなかつた。そんなことで午来氏の出馬には、待ちに待つた人といふ気がした。知床自然保護協会会長であつた氏が強い危機感を感じ、伐採反対を旗印に町長選出馬をするまで、ましてや大きな組織、支援のないところから当選までには、どれだけ苦労をなされたか、私の察するところではないだろ。ひとえに、氏の知床を守ろうとする意志の強さだと私は思う。

それと同時に、今回の選挙では、自然に対する有権者の関心が予想以上に高いことを証明した形だ、と言われている。新聞の投書にも、「人は木々たちと同じように大地に根を張って生きてきたはずなのに、木々の命を奪いとつてしまふ」と知床伐採についてあつた。動植物の生きにくい世界は、人間にとつてもまた生きにくい世界なのではないだろうか。そしてこれからは、縁を切ることによらず、「残す」ことによる、より大きな利益を考えるべき時代なのだ。

自然を守ることは、自分を守ることである、という氏の言葉が印象深い。

三年女子

松高新聞号外版

三F 福味 毅

しめ切りを二週間後に控えた十一月末になつても、原稿は一枚も届いていなかつた。最早、各クラスの委員が原稿を提出してくるのを待つてゐる余裕はないと判断した編集長中谷茂一（当時二F）は、一年生二人とともに自分達三人だけで新聞を作っていくことを決意した。

それまでの松高新聞は、学期末に一度各クラスの委員が書いてきた簡単な行事報告程度の記事をまとめたものが発行されていたにすぎない。中谷自身、七月に同様の新聞を作つてゐる。だが、今回は自分達三人でゼロからスタートしようというのだ。

どうせ作るのならみんなに読んでもらいたいと考えるのが人情であるが、最初からそれはムリな相談だつた。せめて読む前にクズかごへ入れられないようにしよう、一通り読んでから捨てるくらいの新聞にはしたかった。しかし、我々には読ませるだけの文章を書く術は与えられていないかつた。そんな時、我々が目をつけたのは写真だつた。今回の中谷は読んでもらわなくとも構わない。「見るだけでもわかる新聞」にして、その手段として写真を用いるのだ。

このような方針で一三六号は作られ、六十年一二月二十日（終業式）に配られた。この新聞は、一面に生徒会室の写真を大きく掲げると同時に一段抜きの見出しが「知つ

ているのか生徒諸君」「生徒会室をのぞいてみると」とつけられていた。記事は、生徒会室が整理整頓されておらず、だから盜難事件が起ころうのだ、などということを主観的に断定的な筆調で書いたものであつた。この他、二面ではタバコや遅刻防止キャンペーんについて同じような文章を使って伝えた。

この新聞に対する反響は大きく、配布後に行つたアンケートでは七割の生徒が「新聞を見た」と答えており、内容については「センセーショナルで写真週刊誌みたい」「税金と紙のムダ使いだからやめろ」「自分達だけで楽しんでいるように見受けられる」といった感想が寄せられた他、書かれた当事者である生徒会総務関係者の間から強い不満の声があがつた。

この新聞で全校生徒に新聞の存在自体を知らしめることは出来たが、アンケートの結果からもわかるようにいつまでもこんな新聞は作つてはいられまい。むしろ、今後どのような新聞作りをしていくのか、その行方を注目される立場になつてしまつた。この時から、我々の手による新聞作りは始まり、これまで試行錯誤をくり返しながら新聞を発行してきたが、その我々も来年三月には全員が卒業することになつてゐる。我々が新聞を作るに際して何を考えてきたのか、また後輩諸氏に託す思いなどを含め、我々自身の活動をこの場で総括してみる。

（編集者の顔ぶれ）

初めて自分達の手で新聞を作り出したのが、六十年度編

集長中谷茂一（六十二年三月卒）である。彼は、卒業するまでの間新聞作りの中心となつて活動してきた。有志バンドの責任者も務めるなど行動半径は広く、それだけに情報収集もうまくやっていた。中谷の後をつぎ六十一年度編集長になったのが、岩上利広（現二F）で、編集長として主に解説や論評を担当した。中野匡（現三B）は、二回にわたりて旺文社テストを白紙で提出し、その行動を起こさせた自らの考えを新聞紙上に記した。彼の意見文は大きな反響を呼び、六十一年度一年間を通じてそれについてのアンケートなどを企画・実行している。記者としては寡作であつた二又英嗣（現三D）は、たつた一本の記事を八回も書き直した経験の持ち主であり、その努力にはただ頭が下がる思いだ。私（現二F）は、六十一年度中生徒会関係の取材にあたつてきた者である。この五人で六十一年度までの松高新聞は作られてきた。一人が卒業し、残り四人は三年生となつた今年四月、新しく編集長も決まり人事刷新が行われた。現在我々は、取材現場を離れ、折りにふれ後輩達の指導にあたつている。

〈たたきこまれた新聞の基本〉

六十年度新聞委員会の顧問だった野本茂雄先生（現・都立農業高校国語科教諭）が、新聞製作に関しては全くの素人だった我々に様々なことを教えてくれた。その中でも特に事実をきちんと把握するよう口やかましく言っていた。少しでもあやふやな部分があるとすぐに「確認してこい」

ものである。多くの人の役に立つためにはあくまでも事実に基づいた理性的な批判が新聞には必要なのだ。

これららの言葉を通じて野本先生の言われるところは、結局事実をきちんと把握することだつたと思うが、その成果あつて我々は大きな誤報や取り違えをすることなく、今までやつてこられた。事実を正確に伝えるということなどが、なによりも新聞の基本なのである。その基本を身につけるべく、野本先生から指導を受けていた間は、中谷編集長や一年生だった私にとっては苦しい日々であった。なぜ、こんなに些細なことまで調べ直さなくてはいけないのかなどと思つたこともあつた。しかし、今となつては懐しい思い出になつてしまつてゐる。それに、やはり我々にとつてあれはなくてはならない時期だつたとも思うのである。

〈松高新聞が伝えてきたこと〉

原稿が一枚もないという状況に至つて（初めて）新聞を作り始めた我々であつたが、その後も自分達で作つてゆく内にこの仕事にのめりこんでしまつた。その中で、我々が新聞を通して社会の中で実現しようとしたものは何だつたのか。新聞を読みながら、我々が何を考えているのか知りたいと思つた方も大勢いると思う。我々は、それを新聞にはつきりと書いたことはなかつた。ここでは、我々が書かなかつた、いわば行間に託した思いを記してみたい。

松原高校に対して、或いは社会全般について、このまま良いと思っている人はいないはずである。誰もがなにが

「ウラをとれ」という声が飛んだ。また、インタビューしてきた言葉の中身を吟味することを教えられ、それにどんな意味があるのか一つまり相手は何を言つているのかよく考えることをたたきこまれた。その他、幅広い視野を持つようにと、他の方向からの見方を示して下さつたりして、これらの注意を受ける度に、当時まだ一年で新米だった私などはその都度取材先に舞い戻つたものである。一日に何回も取材に訪れたにもかかわらず、その度にきちんと相手をしてくれた多くの人々には大変感謝している。

野本先生が言われた言葉には、言われたその時に意味のよくわからなかつたものもあつた。「批判はいいけど、非難はダメです」というのが、それだ。六十年当時には、我々は批判も非難も悪口には違ないのでだから、全く同じものだとばかり思つていた。それ故、なぜ批判が良くて非難がダメなのかわからなかつたのだ。しかし、六十一年度になり野本先生が転勤した後に、自分達で新聞を作つていく中で徐々にその言葉の意味がわかつってきた。

非難というのは、相手を中傷すること一つまりののしるだけのことである。だから、新聞で相手を非難するには、ただ単に悪口を書きたくればそれで済んでしまう。しかし、批判の方は非難のように相手を罵倒するのが目的ではなく、理性的に事実を我々なりに分析した上で問題点を指適していくものである。ただののしるだけならば感情的になるうと、それが事実に基かない思い込みによるものであろうと構わないだろう。しかし、新聞は沢山の人々が読む

しかの不満は抱いていると思う。そういつた不満を考えていいくと、自分はそれにどう対応していくのか、といつた自分自身の問題に帰着することになる。社会に関する問題は多かれ少なかれ、自分の身にも影響をおよぼすからだ。ところが、自分が社会に対し不満を持ちながらも、それに従つてしまつというのだが、現代を生きる多くの人々の態度であるように見受けられる。騒いでみても変わらないというのも、これまた事実なので、一概に現代人を責める訳にはいくまい。しかし、そのような一種の諦めが、社会に対する無関心を呼んでいる。知つてみても、仕方ないということだ。無関心になれば、何もわからなくなる。なお一層、無関心になる。悪循環だ。だが、知らないうちにいつか自分が望まないような社会になつてしまつた時、その社会が求めてくることに協力していけるだろうか。協力を拒んだら、排除されてしまうようになつたら、どうすればよいのか。

これは、松原高校の中でも同じだと思う。様々な問題、学校全体を支配している雰囲気について—（何も）全てを否定する必要はないが—不満は誰もが持つてはいるはずなのだが、それを表に出さないまま、流されてしまつてゐる。我々もその中の一人にすぎない。しかし、少なくとも自分達がどんな流れの中にいるのか、現状ぐらいは把握しておきたいと思つた。そして、現状を新聞委員として把握していく中で、我々がおかしいと感じたことを伝え、そのことをみんなに考えてもらいたくなつた。我々は、おかしいと感

じるにすぐに取材し、事実を手にすると早いうちにみんなに知らせようとした。この「おかしい」という感じ一つまでは不満一を同時に感じてもらいたい。そのためには、さめないうちに伝えてしまわねばならない。このことから、我々は自分達の活動の中心に号外を据え、とにかく速報性を重要視していくことにしたのである。この号外で、我々は身近なところで起こった事件や生徒会総務の動きなどを中心に追いかけてきた。身近なところでは、日本マクドナルドが配っていたクーポン券が公取委の指導を受けていたがそれを無視して景品を出してはいたとか、どこのクラスで盗難があつたといったことを伝えてきた。こういった事実を何よりも早く知らせるということは、松高や社会の現状を知る上で大きな役割を果たすことができたとは思うが、あくまでそれは現状を把握したということだけであり、そのような現状になぜ至つたのかなどといった詳しい背景までをも説明することはしていない。特に、生徒会会則・規則改正については、断片的に事実を速報してきただけで、全体像が見えるようにまとめて復習してみるということがなかつた。これらは、いずれも人手不足によるものである。とにかく、事実を把握するだけで大変な手間と時間がかかるのだ。五人では、やはり無理な部分もあつた。

身近な所で起る事件というものは、とりも直さず身近な所にいる人達が関係している事件である。それだけにこのような事件を取り上げた記事は、比較的読む人達の関心を集めることが多い。しかし、取材する者にとってはいろ

いか。「良い社会」を実現するために新聞を作っているとするならば、それだけの熱意と誠意をもつて取材をしていいか。さもなくば、協力してくれた人に申し訳が立つま。いつまでも自問自答の繰り返しが続く。答えは出せない。これは、この仕事をしている限りどこまでもつきまとうものなのかもしれないが、その態度は忘れないようにしたい。

自分達の仕事が持つ社会性を自覚するのも大切なことだつた。もしも、事実を伝えるべき我々が仕事をしなくなつてしまつたら、どうなるだろうか。社会の現状を把握することがなお一層難しくなるうし、みんなが気づかないうちに自由にものを言えないようになつてしまつた。返しのつかないことになる。「言論の自由」の上に安住することなく、フルに行使していくことが、それを守るために大切なことだと考える。それ故、モノを言うのはやめてはいけない。しゃべり続けるべきだ。事実、口やかましいられるようになつたと喜んだものである。

これまで我々が作ってきた新聞は、自分達の目で物事をとらえ、自分達の手で取材し、製作してきたその自主的な態度とその活動を通じて問題を提起したことそのものが評価された。もちろん、我々はこれで満足はしていない。今後、新聞は問題提起の内容自体が問われることにな

いろな意味においてつらい思いをさせられる。

そもそも身近な所で起る事件とは、社会が抱えている問題の一部が噴出してきたことであり、社会を様々な角度から考えていくとする際の材料を提供すべき新聞にとってはどうしても掲載していかねばならない。ところが、事件の当事者達にとつてみれば、その事実を報道されることによって結果的には自分達がクローズアップされてしまうことになる訳で、取材に来た我々に對して反発する人もいる。そのような場合には、事実を伝えることにより現状を知つてもらい、少しでも良い方向に進んでいくよう考えてもらうために報道するのだ、と理解を求める、最終的にはいつも取材に協力してもらつてきた。記事に書かれる人の立場を尊重し、必要のない場合には氏名を出すことを控えるなど配慮もしてきた。だが、我々にはなかなか書かれる立場というものに対し、今ひとつ実感がわかなかった。それに、強い反発を受けながらも掲載した記事にどれだけの意味があるのか、考えさせられることがよくあつた。それは、つまり書いてみてどうなるのかということだ。記事はやはり記事にとどまつており、世の中はなんにも変わらないではないかと思うと、仕事をする気力もなくなつてしまおう。なぜ、我々は新聞を作るのか、記事を書くのか。

「少しでも良い社会を作つていくため」と答えることはたやすい。だが、その言葉が本当に自分のものとなつてゐるかどうか疑わしく思いもしよう。それを隠れみのにして、他人の悪態をついて回る偽善者に自分達はなつていな

〈現状を前に〉

我々が身を引いた後、今年四月に選出された新しい編集長達は、彼らなりに仕事をしているようであるが、我々からはたつた一枚の新聞をどう埋めるかと云ふことに腐心しているだけのよう見受けられる。もちろん、十分に指導をせずに新聞製作の全てを任せてしまつた我々にも責任の一端はある。

ただ、この今までいけば松高新聞紙上には我々の活動は残るだろうが、後輩にはそのかけらさえも伝えられずに終わってしまう。全くさびしい限りである。

様々な問題を言葉にして伝えていくこの仕事は、すればするだけやりたいことが出てくる、深みのある面白い仕事である。誰かが、我々のあとを継ぎ、なお一層発展させていくのを待つまでだ。これは、新聞のみならず学校についても言えることだろう。みんなで、良い学校にしてい

つてもらいたい。

最後に、これまで我々に協力してくださつた多くの方々にお礼を申し上げたい。ありがとうございました。

松高新聞は、六十年二月以降のものについては新聞委員会に、それ以前のものは図書室に保存されています。

クラス紹介

クラス紹介

一年A組

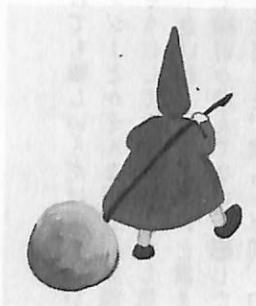
いきなりA組の紹介をたのまれた。そして締切の前日。何もかけない。最初だからうけをねらおうと思ったが、ネットがない。じつと考へる。しかし書けない。少し休息をとる。しかし書くことがない。しかたがないから素直に書くことにする。

一年A組は明るく活気にあふれている。しかしこれはたてまえで、本音：それはただ、うるさい。現国では『うるさいです』と、しかられ、リーダーでは『しずかにしてー』としかられ、社Aでは『おい。ちよつとうるさいぞー』、etc；毎時間、しかられる有り様である。またA組には個性の強い人（『変な奴』）が多い。ゆえにまとまりが足りない。そこで担任の小林先生に聞いてみた。『結構いいクラスだと思う。文化祭が終つてからまとまってきた。しかし、うるさきだけは学年2位ぐらいで、けじめがたりない。（全文要約）』というわけでA組のわるい所ばかり挙げたが、長所はとゆうと、：み、みつからない：いや、ある。それは「元気で明るい」ということだ。（長所といえるかわからないが）というわけでA組は「元気で明るいクラス」としておこう。

一年B組

「ソバ。あがり。残念だな。」

このせりふは、UNOという、カードゲームの勝った、ある人が言つたものです。このクラスは、休み時間にやるカードゲームのようだ、団結の仕方をします。というのは、休み時間は10分で、授業が終わると、すぐ集まって、ゲームをはじめます。そして、10分後、鐘が鳴ります。その時に、ゲームが途中でも、「おながれ」と言つて、解散します。



一年C組

一年C組のクラス紹介をさせてもらいます。担任は社会科の三壁先生でとつてもまじめ先生であります。我がクラスの特徴は、やる時はやるという感じで文化祭のときなどは、普段のまともりのなさとはうらはらに、みんな協力して、「WONDER LAND」(一言で説明する)と迷路を作り上げました。また、授業中も、ものすげー静かなときがあり、そんな時に先生がジョークをとばした時はクラスの中にしらけた雰囲気が漂よつてしまつたことがあります。(この事件は、まぎれもない事実である)まあしかし、そんな授業はまれで騒々しいことが多いのであります。

C組にも困ったことがあります。それは男子の積極的な面が薄いという点で、文化祭のときの中心も女子であつたし議長も女子であります。(ん?これは担任の方針だつた)とにかく女子がにぎやかであり、これから男子の活躍を期待しているのであります。まあ、こんなところで紙面の具合もよくなつてきたので、これをもつて一年C組のクラス紹介をおわりにさせてもらいます。

一年C組のみなさんへ、本文に納得いかない点がありますから作者に文句などをつけにきて下さい。

一年E組

私たち一年E組は英語科の小山成雄先生を担任にもつ、総勢五十人の明るく気のいいクラスです。

このクラスは氣のいい奴がそろつてるので授業中つまらないギヤグを飛ばしても心から皆、笑ってくれます。

それだけでなく、授業中にさされて答えられず途方に暮れていると、どこからか答えるささやきが聞こえてきます。大抵はずれていますが。

さらに、担任の小山先生が素晴らしい人で、授業の合間に冗談半分で言っていた、「将棋部復活。」をこのクラスの人員を基に現実のものにしてしまいました。

このようなことを書いているとバカばっかりやつてると思われるでしょうが、根はみんな、まじめで素直な人ばかりです。

たのしく行動力のある先生、明るくやさしいクラスメート、私たちは松原高校に入つてから半年の間、とても仲良く楽しくやってきました。残る半年の間このまま楽しくやっていけそうです。

一年D組

一年Dの説明をしろって言われても難しいんだけど、強いて花にたとえれば、黄色のパンジーとかそんな感じ。放課後は一年Dのだれかが図書室でそうじしますから、もし気が向いたらのぞいてみて見て下さいね。見て下さいと言えば文化祭。思えば九月になつて練習が進んでないと感じた一年D担任は私達に「てれていてはダメだ。僕も一年前、白雪姫という大役をやつてのけてなあ、役になりきるため毎晩鏡をみて、私は世界で一番美しいと自分に言い聞かせたもんだつた。もちろん当日はアンコールの拍手があふれてあふれて。出来る事なら個人指導でもしてやりたいんだが、今年はバンド組んだし…。そうゆうことでもみんな、がんばれよ。」と喝を入れて下さつた。それが影響したのかしないのか当日はあの通り。うう、すごい。

さて、一年Dは美術選択者の集団なんです。私にはよく分からぬんですけどクラスの協力度はあまりない感じ。他のクラスもこんなもんなのかな?でも一人一人はみんなの人がなんじやないんです、か。だから私はうれしいです。ただD組は教室がすこしせまいんです。階段のそばと言うのは便利ですけど、あんなせまくちや酸素がなくなつてしまい酸欠で死んだら先生のせいだからねつ。

一年F組

さつぱりして、まろやかな味わい一年F組—一年F組果たしてその実体は……。

スリル、サスペンス、ロマン、アクションそして愛。主婦の川久保秋子さんは、

「うーん、なんていうのかしら、まつたりとしていてそれでいてしつつこくない感じね。」

警視庁少年課の徳丸兵六警部は、「そーねー、実は私達も秘かに期待してんですよ。」
一柳一家のヤックン、丸越萬太さんは、「……手ごわいっすね……。」

一年F組果たしてその実体は? 一体彼らは何ものか?

——さつぱりして、まろやかな味わい、一年F組——

電話番号 一一三一四五六七(ヒフミーヨゴムナ)
尚、資料の発送は受付けておりません。
次号も乞う御期待!!
「私たちを信用して欲しい」

二年A組

みなさん今日は！（2Aのクラス紹介についてみたいと思
います。）2Aは、個性の全然違う人ばかりいて、文化祭が
終つたつい最近になつて少しずつ盛り上がり上がってきます。

これも、劇で盛り上げてくれた江面君と、文化委員の高橋君と高野君と佐藤さんのおかげです。そして何といっても我らのヒーロー小杉くん。よくがんばってくれました。

自分たち二年C組は、一人一人が個性的で、とてもおもしろいクラスです。でもクラスがえをした当時は、暗く、クラス全体が重々しい雰囲気でしたが、文化祭が近づいてくるとともに、あかるくなり、団結力が深まりました。しかし、それもつかの間、つみきが音をたてて崩れさりました。夏休みに集合をかけても誰も来ない。文化祭はどうなるのだろうか。本当に出来るのだろうか。とても心配しました。が、しかし、夏休みが明けると、みんな人が変わりました。目が燃えていました。文化祭まで全力投球でがんばりました。そして、劇「熱海殺人事件」は大成功、最終日の上演が終わると、男子は大観声をあげ、女子は涙を流しました。入賞は出来なかつたものの、この文化祭、この劇によつて二年C組は一つになることが出来ました。

そして、この時の気持ちを忘れなければ、二年C組は最高のクラスになるでしょう。

二年C組

二年D組というクラスは、変わり者の集団のようです。おちつきがあるのかないのかよくわからない状態なのです。もちろん担任の先生だって変わり者。なんてつたって英語かわかったもんじゃないクラスなのです。

ところでこの間の輝松祭の時2—Dの出しものを見てくられたかな!! 「Little Shop of Horrors」 できはよくなかったけど、みんな一生懸命やりました。最大の難関である文化祭もなんとかのりこえられたのは、やっぱりまとまりがあるからなのかな?!

こんなクラスだけれど、とってもとけこみやすいし、やるときはやります。あと一年もこのクラスでやっていくのは実はとても心配だつたりもする。他のクラスのみなさんどうかうちのクラスのめんどうをこれからもみてやって下さいまし。

二年D組

二年D組というクラスは、変わり者の集団のようです。おちつきがあるのかないのかよくわからない状態なのです。もちろん担任の先生だつて変わり者。なんてつたつて英語の渡辺先生!! まとまつてゐるのか、まとまつていないのでわかつたもんじやないクラスなのです。

二年B組

履歷書

氏名……一年B組 (男子二五名 女子三三名)

年令……平均一六·五三才
全体一六·五三才

住所……東京都立松原高等学校の中央棟の二階の真ん中

担任……山崎賢司 teacher 四十?才 おとなし
の教室

くて、素直なクラスである?と言つておりました。

副担任……佐野孝志 teacher 三十六才 明るく柔らかく、
しく男令様ユニークであるとおっしゃつておつた。

職業…………東京都立松原高校学校の第一学年の生徒として

勉強などをすること。
生年月日：一九七一年四月一日から一九七〇年四月一日

月一日までの間のどれか一回
血液型……A型 十六人 B型

A B型——二人 ?——六人

長所…………いくら考えても、悩んでも、頭の中では思いつかないほどの何もないでしょう。

短所…………いくら考えても、悩んでも、頭の中では数えきれないほど何事かあります。

れないほどたくさんある……………でしょう。

一年E組

一一Eは、誰でも、すぐにそのふんいきになじめるクラスです。・始業式は数人しか出席しない。・出席簿を見ると、欠席、欠課、遅刻が他のどのクラスにも負けないぐらい数が多い。・夏休みには、一度も全員で集まって文化祭の練習をやらない。色々問題はあるけれども、やるときは、ちゃんとやるクラスです。その例は輝松祭や体育祭では、特に輝松祭では、ガクランを着て頭は油ぎつたりーゼントのお兄さん達に、からまれた人もいるでしょう。そのお兄さん達こそ、一一Eの出し物“ビーバップハイスクール”的出演者であつたのでした。

ヒンズー教の23番M君は、問題をさされると、聖地メッカに向かいお祈りをしてから答える。受験の時には実際にメッカに足を運ぶつもりである。

今波君はみんなの友達。今波君が来ると、みんな明るくなり、元気になります。特にT君は物真似が得意で、マイケルT君と呼ばれ、みんなに親しまれている。

最後にちよつとしたクラス紹介をしましよう。担任は橋謙先生、副担任は、prettyな伊藤先生、ギターを引くおかしなオバケ、カツカツカのS君、たらしのA君、KT君、いつも笑顔のH君、力がすべてのS君、23ばんのM君は、新聞屋です。おーいおーいおきろin-temple

三年A組

文化祭で娯楽部門の優秀賞をもらつた三年A組です。このクラスは、去年、「お化け屋敷」でも賞をもらつた、たいへん優秀なクラスです。とは言わなければ、どこでもあるようないフツーのクラスです。ところがそのフツーのクラスにエスニックなスペースを加え、かきませたのが、このクラスの担任と副担任、すなわち樋口先生と磯貝先生なのです。樋口先生は、柔道界の神さま的な存在で、このクラスをリードしてくれています。そして磯貝先生は、ご存知の通り、松高一の権力者、影の大ボスであり、逆らう生徒に生きてる者はいません。(ちよつと言ひすぎた?)こうした苛酷な状況に育つ、このクラスの生徒には没個性の人間はありません。むしろ、自分というものを、ガンガン主張してくる者がそろつております。

関東大震災が来ても、核戦争が始まつても生き残つているような生命力の強さを感じさせる者や、この時点ですでに、社会人よりもすつと世渡りの上手い者。一見おとなしそうだが、怒らせると仁王様よりもコワイ者や、とうてい常人が考へうる思考方法を超越した考へをもつた者。

いろいろな人間がいるなあ、と思うのは自分たちのクラスだけではないはずで、他のクラスも、けつこ面白い人間が集まっています。

同じことは先生にも言えることで、それぞれの先生の性格は大変バラエティに富んでいて、これだけ色々な性格

一年F組

ヘビメタや足はほそいわ妻かわい（松永先生）
暁を見つめて今朝もコケコツコ（白幡）
登下校きみの周りのみいつも春（植田）
おーいおい木からはよおりれ良太（鈴木良）
がつてんだがつてんだがつてんだがつてんだ
（江口・堤・丸山・ト部）
おこされて頭あげればでこにあざ（松岡）
池田さんあなたのおてでは誰のもの？（池田）
バカボンか？いやや高杉晋作か？（遠部）
あらわれて消え行くあなたは何者ぞ（鈴木）
こわごわとくじ引けどもまた最前列（金山）
山三つ越え行くあなたに感無量（辻）
嵐呼ぶおいらはドラマ一すずちやつちや（山田）
“ビニン”とは否認のことですやだわ先生（井上先生）
ワハハハハ不死身の順ちゃん登場だ（深田）
今日一日やすらかに眠れ田中くん（田中）
我がクラスは、この他にもイロイロ変な人がいます。
そのあまりの多さに、この場では、これらの代表者だけしかご紹介できませんでした。御了承下さいマセ。
今日は一日やすらかに眠れ田中くん（田中）
大抵の人が大学へ行きますが（行こうとしますが）、そういう人の大半は、とりあえず大学に入つてから将来を決めるつもりでいると思います。でもそうするよりは、先に自分の将来の青写真というものがある程度思い描いておいでから、自分のとるべき道を選んだ方が、のちのちの後悔が少ないと思います。
何でもかんでも大学に入れさえすればよいというものでもないと思います。大学に入るというのは将来なりたいものになるための手段であつて、それ自体を目的にしてはいけないと思います。

世の中の流れに流されて（たしかに大卒の方が就職が有利なのは否定できない）。自分を見うしなつて、自分の個性をかくして生きるのはよくないと思います。「あくまで自分は自分でかつて他人は他人だ」という考え方のある程度といた方がよいと思います。

実にエラソーンことを書いたけど、一番実行できていなのが著者本人だつたりするわけで、わけがわからぬまま、この文章を結ぶわけです。

—おわり—

三年B組

内田・石上・赤間・この一列は忘れない トリッキーがみまぼろしの3分間スピーチ！ 遅刻の王者、ここにあり！ てかあだめ押しの、保津川下り！ いい席よこせ！ 時は金なり”

もう世田谷線の変な人にからまれなくてすむ！ 我が松高生活三年間に、一片の悔いなし!!

振り向いて気付いたよ 忘れられないこと 現像8分水洗1分定着10分。セピア色の人生 何もしないうちに時が過ぎてしまった

俺の恋人RUGBY. 横田球の青春！ スタンドオフ雄二 曽田宏嗣 佐々木亮 大石竜太 金子大作

お前の甘い蜜を貪り喰つてやる！ 木津隆文 清沢信彦 酒井明弘 丹治左奈江

本日休業。またの御来店をお待ちしています 廊下側二列目前から四番目 中里見哲也 中野匡 高橋智子 久保田智子

腹ふくるるわざは……打つ手がない!! 福津竜太 西野光一 沢田典子 丹治左奈江

私、下高井戸の街に咲く一輪のカスミ草、男……塚本弘一 マクドナルド原宿竹下通り店。店長と呼んで下さい。松崎 野城文彦 久保田智子 久保田智子

陸上部員の埼玉県民 川越市よろしくの…………松井典彦 何年かしたらあつといさせてやる、うそ 三矢学 山浦一成 下郷智加

何年かしたらあつといさせてやる、うそ 三矢学 山浦一成 下郷智加

三年C組

我が三年C組は、（ちなみに去年は二年E組）で有名になつたクラスである。なぜ？有名になつたか、それは輝松祭を思い出してくればわかると思う。わからない人は三年Cの黒板の横にある賞状を見てくればわかる！まあ、自慢しているわけではないが賞状はなんと輝松祭に関して二枚も取つてしまつたつわものばかりのクラス。そして、よく目をぱつちりと開けて見ると……。

“最優秀賞”が“一枚”

あるではないか！二年連続も最優秀賞を取つたクラスがいまでにあつただろうか？非常に難しいことなのに二年C51名はこの不可能なことをやつてしまつたのだ。来年も二年連続……？そして巨人のV9時代のように毎年取つていたいものだが……？そう世の中うまくいくわけがないヨト。

最優秀賞を取つた我がクラスが何で取つたのかと申しますと、二年の時は、みなさんも知つていると思いますが、の感動の名作・涙・涙の劇“愛と青春の旅立ち”で取つたのであります。主人公は、体育祭でも有名な赤組応援団長

松江君であります。あの忘れもない名セリフ“困つたもんだよ女つてもんは”とか“愛なんていらないよ”などなど

キヤスト・スタッフの力が一つになつて取つた最優秀賞。三年の時は、まあ、ついこないだやつたようなものだから言つてもないが、“焼きそば”で最優秀賞。焼きそばの出前、買物はみんな、ベンジョンソンより速く、料理

持つべきものは友達だ！ラグビーやつてよかつた 吉田かくことねーよ

高校生でいたいけど、新しい道を進みます!! 和田洋

DAVID SYLVIANはかつこじい。

立派な大学生になりたい!!

三年間で、ほんと短くて、もう卒業です。

宇田川友里 幸福は歩いて来ない。だから歩いて行くんだよ ピッピ

サヨナラ ビー部が好き だけどチョコパはもつと好き！

この今までいたいな。○○○と。 萩山奈々 ともみ

わがまま 気まま 流れるまま…… すん

人生最大のドラマは、「出会い」——だなつ 久保田智子 一日一歩、三日で三歩、三歩進んで二歩下がる あつし

われても未にあはんとぞおもふ 今”を思いきりやるつきやない

” 久保田智子 久保田智子

Thanks

Ah さみしいなんて Ah 感じる暇もないくらい……まなみ

サッカーが好き だけど松高はもつと好き SABO

テニスが好き だけど思い出はもつと好き！ YASUYO

人生はワンツーパンチッ汗かきベソかき歩こうよ ちよん

ごきげんよう Ah 見失なつた答えさえも見つけられぬ二人に…… るみ

あなたのつけた足跡にや綺麗な花が咲くでしよう 淳子

お気に召すまさに……

ハリー、蘭丸、ハリー蘭丸、蘭丸 堀口美映子

素敵な仲間たちにカンパイだよーん

（中略）ワンツーワンツー、休まないで歩けえ。

由木子 横田みゆき 森田晶子 あやこ

ド、とにかく動いて動いて取つた最優秀賞であった。まだ、だいぶ原稿が残つてゐるので我が三年C組のつわものたちを紹介しておこう。まあ、なんと言つても文化祭で活躍したけど頼りになるのかならないのかわからない文化委員一人赤野さん・藤村さん・そして、入院した議長おジャンボ糸瀬君・調子のいい奴姫藤君・エプロン姿がかわいい溝越君・口うるさくしゃべると止まらない大石君・体力には自信のある白石君・腕はハルクホーガンのよう。沖中君・わがままな桑島君・体だけ大きくて貧しい安井君・ドアの矢部君・卓球コンビ内田君・榎本君・小さな女の子藤田さん・柴田さん・尾上さん・なぜ広島ファン川田君・うるさい伊藤さん・阪神ファンの大谷さん・キカイダー01桜井君・いるのか知らないのかわからない五味君・実は県民の小森君・ソフト部の小宮山さん・音響のことなら田端君、と言う具合に24名。まだ二年Cのつわものは27名いる。いろいろ書きましたが思つて書きましたので、そこんところを！そろそろ終わりになつたので……あー疲れた。

おつといけない、書き忘れたことがあつた。二年Cの担任は——杉喜久雄先生である——これで完璧！ でわ。

二年D組

クラスの人には「どんなクラス?」と質問するとみんな一言めには、「にぎやか、うるさい」と答えます。でもただ騒がしいクラスだけではありません。まとまらなくてはいけない時は、チームワークの良さを見せてくれます。

体育祭のクラス全員リレーでは、特に足が速い人がいるわけでもないのに、二年三年と連続して一位でした。個人で見ると速くなくてもクラスになれば学年一というのはチームワークの良さが出てているからだと思います。

文化祭は最初の頃は、みんなやる気がなかつたみたいだつたけど、当日が近づいてくるにつれて、みんなが協力して、クラスの雰囲気がよくなつてきたので一層よくなつてきました。当日は模擬店をやってたくさんのお客さんをむかえて、クラスのいい雰囲気を見せることができたと思います。文化祭が終わっても、クラス全員で後片付けをして最後までまとまりを保っていました。

ここまで書いて二年D組は行事の時しかまとまらないと思われてしまふかもしません。

普段は騒がしくて注意をされているけど、まとまりを見せるのは行事の時だけではありません。いつも、どこかでクラスはまとまっていると思うし、みんな自分のクラスをいいクラスだと思っています。

それに、担任の小野先生、副担の山中先生の両方とも、

二年E組

始めは男子

まず授業中、いきなり強気な暴言をはくのは、出席番号一番の石橋。その問題をいとも簡単に解いてしまうのは、三Eの生き字引き榎本。次にさされた尾島は遠藤氏に助けを求め、そして栗ちゃん、当たつて少しの間の後、ノビ!そこへ黒部君、いきなり出てきて食人族徳間を激写。この辺で授業のムード一気に崩れ、今君は憲法九条について、いきなり講義を始め、ロッキーはグリースを踊り始める、それと一緒にパーマン山中も踊る。今まで人前に出なかつた中本君まで「この問題わかる人!」と一言。いきなりマット・スマス君現れ、藤牧君と口論、それをなだめるのは松原、中山&松山は柴さんを行司にして大相撲。何を思つたか宮治君、ロードマンで乗り入れる。そして授業が終わる頃、矢津君登校。

次はH・R。前に出るのは、我が議長、オバQ宇田川、前議長のバニー馬群と愛人藤本もいる。残る委員は体育のみ、ここでの教いは、やはり生方君。

……広瀬。

おつ!うつ!比留間は目が男らしい。

——作者はライオンズびいきの吉田でした。ゴメン。次は女子

やつぱり、GOOD-BYEからはじめよう 青ちゃん
樋口可南子に会いたいわ。タコもちゃんと見てね。京子

常にクラスの事を考えてくれています。いつもクラスに対しても笑顔で接してくれる兩先生がいるから、三年D組のいい雰囲気が生まれてくると思います。小野先生には一年間クラスを持つてくれて授業はないけどS・Hのわずかな時間の中でもクラスの全員と接してくれています。

クラスの誰もが小野先生に対しても親しみを持っていると思います。たぶんそれが、クラスのどこかでまとまっている所だと思います。

三年D組は、クラス全体の雰囲気は本当に明るいクラスで、いつでも笑い声が聞こえています。

クラス全体として明るいだけではなく、個人としてもみんな明るい奴ばかりです。

三年D組のいい所は、ただ騒いでいるだけでなくて「やる時はやる」という言葉どおりにまとまらなくていけない時は、クラスが一致団結するという事だと思います。



LET'S PLAY MASTER "SERVANT" (国)

いつかきっと私のお腹は元気になるんだぞ。久美ちゃん
他の桜と一緒に咲けなくとも鳥や虫は来てくれる キー子
赤信号、みんなで渡ればこわくない。うん!! パー子
樋口可南子キレイだった=タコ・黒人もネ、京子。 幸代
やつぱり、BASKETBALLが一番!! 美和ちゃん
黒いPRELUDEに乗りたいなあ。

黒いBMWに乗りたいなあ SOMEDAY ☆みんみん
"デュラニーズ" 一生やりますひとりでも!! 桑ちゃん
I LOVE YOUだけど、さよなら..... 美佐子
その、大石大一朗、おかしい!! ありがとう。 あさみ
やつぱりRIVERが好き。便所の紐は元気。 陵ちゃん
白いBMWに乗りたいなあ SOMEDAY!! みつく
その、梅辰の食いつぶり最高!! ありがとう。 なお
白いPRELUDEに乗りたいなあ。 ゆり
また今度、どこかで逢えたら.....ね。 なす

(3) 0セントよりそばにきてSmell世界..... まちこ
三年間、雨の日もBICYCLE よしみ
うーん。まいっただなあ。わかんないつてば おーちゃん
素直で一生懸命な、無駄用でもいい女になりたい。 聖子
White·Pappaしてね もんも
石の上にも三年いたら化石になつてしまふ。 ほだちゃん
わだちゃん

三年F組

編集後記



高橋克明
前野

突然ですが、キリギリス…Part II

二十五字を埋めるのは難しい。あつ、できた。
あら、私つてば勉強した日があつたかしら。

大学に合格して遊びまくるぞ！ 西向く侍。
スキッパーとツグム君はさいこうさ！

おーい！堀ー
英語なんてどおーいつきらいだい!!

めーこへ、音楽こそ私を物語る最大の武器
だれか私のロッカーの中身かえしてよおー！

佐山美穂
保体の先生は俺の母ちゃん!? うそだろ板垣ッ！坂本
英語と数学さえなければ……。マンガが読みたい 角田

現役合格？ 笑わせないでよ。…………塙本隆志
花栄朱全張清楊志徐寧索超史進穆弘水滸八驃騎（平林）

「奥さん、このシミ何ですか？」洗タク屋ケンちゃん。
キヤムデン・パレスに通うツンタ君はさいこうさ。みき

つたくもう、いいかげんにくろ!! 全開ブリブリの山崎
いろんなことがあつたけどやつと髪が伸びました。木村

卒業するまで高校生。卒業してから受験生。 中村 昇
休憩所 つかれた人はここで休みましょ。 島田高広

M R F C 一年生は、もつともっと筋トレしなさい。伊藤
筋トレするなら中野輸送。アルバイト募集中！ 古川隆行

修学旅行の時ポンを谷底へ落としとくべきだった。久保田
脳ある豚はヘソかくす。脳のない豚は汗をかけ。大門正和
私つてけつこう青春してたのかも…… たなかのりこ

高校生活三年間オギュード呼ばれていた男。
こーゆーの書くの苦手なんです。

樂しかったヨ。つまんなかったけど。
つまんなかったヨ。樂しかったけど。

大学で遊ぶために、一年間予備校で勉強します。
10年後必ずビッグになってやる。やきとり七福齋藤美津雄

俺には俺の道路がある。
やつぱり高校生って、いいよね。

やつぱり高校生って、大胆よね。
やつぱり高校生って、ミーハーよね。

やつぱり高校生って、ぼーっとしてる♪よね。
やつぱり高校生って、コピーバンドよね。

やつぱり高校生って、Rockがつきものよね。
やつぱり高校生って、アタック!! バシッ よね。

やつぱり高校生って、わらつちやうよね。
ひらのさとこ

ブン屋は、八王子から火星に帰ります。
巴拉は憧れ心の中に、青春はいつも3Fに乾杯。カン太

いろんな事あつたなあ……。なあんて……。
目標に向かつて一步一步努力していきたい。

何年かして、また友達に会いたいな。
松原高校よ、たきさんの思い出をおありがとう。

私は空が好きです。だから……。
あのね、僕は注射が嫌いなんだ、竹井勲、といつてみた。

いつでもさ、忘れたくないよね。笑顔。

高橋克明
前野

ミカミドン
岩上利広
廣畑 麻衣子
矢野日生美
ビシバシイシバシ
キヨン

編集を終わつて

生徒会誌編集委員長 岡田直美

一年生の時、何気なく入ったのがこの生徒会誌編集委員会でした。入った時は具体的に何をやる委員会なのかよく分かつていなくてまさか自分の書いた原稿が生徒会誌にのるとは思っていなかつたのです。思えばいろんな事がありました。初めて任された仕事として体育祭直前の応援団長さんのインタビュー・真面目に答えて下さつた方もおりました。“うげつ”と思うようなお答えを下さつた方もおりました。しめ切りに追われて書いた体育祭の原稿：ああ、今となつてはいい思い出と化した。

さて、今年はどうかというと、とんでもない者が委員長になつてしましました。おかげで先生をはじめ副委員長や委員、その他の皆様に多々迷惑をかけました。私のような大ボケ者はしょせん委員長にはむいていなかつたのです。人に書いて頂いた原稿を紛失してしまふなんて私は何て大馬鹿者なのでしょう。申し訳ございません。しかし、時は私に落ち込むいとまをも与えてはくれませんでした……。

今年の委員は人数が多く、協力的ではないのかと思うといざという時にはがんばる、といった方が多いように思われます。昨年のル・クール編集の時の主動力であった先輩方も私達下級生に力を借りて下さいました。おかげで今年方々も私達下級生に力を借りて下さいました。おかげで今年

のル・クールは昨年より少し厚くなつて、内容もぐんと読み易くなつています。ですから、どうか

最後まで読んで下さい！

よろしくお願い致します。このル・クールとは、先生、委員をはじめ、御協力下さつた皆々様の、血と汗と涙の結晶ではございませんか。ちょっとオーバーでしたか？。でも、一冊のル・クールを通して読者も含めて多くの人達が一つの輪に結ばれるのです。これほどすばらしい事があるでしようか。

以上、色々と勝手な事を言つて参りましたが、最後におわびとお礼を申し上げます。

原稿を紛失いたしましたクラブの方、申し訳ございました。特集に御協力頂いた桜町高校、新宿高校の生徒会の方、そしてアニメ研究部の方々、どうもありがとうございました。



編集委員の一言ページ

一年

A組 糸賀 り吹奏楽命——冗談。何もせずすみません。

B 桜井 り少しだつたけど仕事ができたらんでよかったです。

C 西沢 りそーいえ、バルクール委員だつたんだつけ！？

D 高橋 りほとんど仕事をしなかつた。

E 中道 り何これ？なーんだけ仕事が増えたかと思つた。

F 广瀬 り次号は来月25日に発売するわけねえし。

A組牛島 り何も仕事をしなかつた。ごめんなさい！

E 阿部 り何も仕事をしなかつた。ごめんなさい。

F 萩原 りちやんとやれよ。さぼるな。授業中寝てるんじやねー。野球部のヒーロー池田君より。

二年

A組牛島 り来年はどの委員会に入ろうかなー。

長坂 り後期は委員会をかわりたかったのに……。

B 青山 井上

おわづれよ。

みんななどうもありがとうございました。

三年

A組 池田 り副委員長としてよく仕事をした。

F 福島 りおわづった。

E 堀川 り大和田さん壇さん大和田さん

C 新川 り体育祭だけやつた。

B 松岡 りなかなか楽な委員会だつた。

A組 池田 り何をやつていたんだろう……。

F 伊藤 り何をやつていたんだろう……。

E 高木 り何も仕事をしなくともル・クールは完成した。

C 三矢 り文化祭だけ働きました。

B 大石 り三年間ル・クールにお世話になりました。

A組 森田 り仕事は一日だけですむすばらしい委員会だつた。

E 川山 り仕事、しないでごめんなさい。

F 井上 り二年間、あつけにとられてしまつた。

E 柴宮 り出なくてすいません。

F 塚本 り時間を無駄に使つてしまつた。返して！

E 中村 りここに入る三年の方へ：あなたはサボル。

C 投稿欄の福味君の文章は、この二年余りの新聞委員会の目ざましい活動を後に残すため顧問が特に依頼したものです。

ル・クール36号

昭和62年12月25日

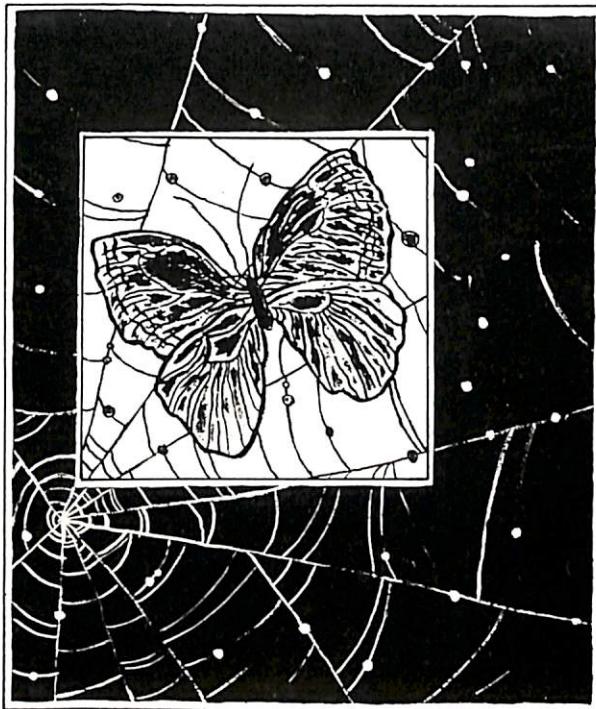
発 行 東京都立松原高等学校生徒会

編 集 生徒会誌編集委員会

顧 問 岡野美千子

印 刷 株式会社フォレストアート

電話 03(264)0801



Ah ça, c'est un "tour du sort".